

令和7年（2025年）2月28日
教育委員会事務局 読書振興課

豊中市（仮称）中央図書館整備計画（素案）に関する意見公募手続の結果について

令和7年（2025年）1月31日～2月20日に実施した意見公募手続の結果は下記のとおりです。

（1）集計結果

①提出方法別提出人数と意見件数

	提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
1	郵便	0	0
2	ファクシミリ	3	9
3	電子メール	5	26
4	電子申込システム	56	187
5	所管課への直接提出	33	95
6	その他	0	0
	合計	97	317

（上記以外に、政策等の案の内容とは直接関係のないもの8人8件の意見がありました。）

②市民等の区分別人数

	市民等	提出人数（人）	意見件数（件）
ア	市の区域内に住所を有する者	91	294
イ	市の区域内に事務所等を有する個人及び法人等	2	11
ウ	市の区域内に存する事務所等に勤務する者	1	2
エ	市の区域内に存する学校に在学する者	0	0
オ	市税の納税義務者	0	0
カ	意見公募手続に係る計画等に利害関係を有するもの	2	9
	その他（市民等の区分が未記入のもの）	1	1
	合計	97	317

（上記以外に、政策等の案の内容とは直接関係の無いもの8人8件の意見がありました。）

(2)提出意見の内容と市の考え方

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
1	P05	意見を羅列する必要はないと思います。もっと簡潔にまとめたうえで、それらの意見に対してどう考えてこの計画に落とし込んだのかを示して欲しい。	(仮称)中央図書館は、Ⅱ市民・団体等ニーズ(P4～P44)に記載のとおり、豊中市(仮称)中央図書館基本構想の策定過程の段階から、図書館関係団体との勉強会やヒアリング、市民アンケートや説明会、パブリックコメント、さらには出前講座や市民主催のタウンミーティングへの出席などをおして、多くの方々からご意見をいただき、議論や意見交換も行ってきました。これらを市民の皆さまとできる限り共有し、今後の整備にともに取り組むことは市民参画・市民協働にとって大変重要なものと考えます。
2	P05	市民のニーズをどのように受け止めたか分りにくい。ニーズを書き出して実現率のような回答が欲しい。	
3	P05	これまで行ったワークショップの様子やパブリックコメント、アンケート結果に整備計画の半分の紙面を割いているのは改めるべきです。これまでの経緯を述べるにしてももう少し簡潔にしましょう。 出た意見を並べるよりも、数ある意見の中で、整備計画に反映した意見、反映できなかった意見、「その理由」が一番大事だと思います。 そもそも、毎回意見を聞くだけに終わり、その後の議論の発展がありません。相反する意見にどう折り合いをつけるかの議論をさせず、行政側で一方的に決めて、誰が決めたのか、なぜそう決めたのかを公表しないのはおかしい。 (例：飲食スペースを置く、置かない。自学自習室を設置する、しない。蔵書を優先、親子スペースを優先。など) どういう理由で、誰が判断したのか知らせるべきです。	
4	P05	概要版の中で、市民と検討してきたとありますが、いつも参加してきたワークショップでは、あまり市民の声を聴いているとは思えません。もっと、市は市民の声を真摯に聴いて欲しい。	
5	P05	飲食、会話、イベントなど、要望の中には図書館ではなく公共施設、娯楽施設に求めるべきものもあり、それは本当に図書館に必要かということを考えて取り入れて欲しいと思います。	(仮称)中央図書館基本構想、豊中市立図書館みらいプラン、(仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程におけるアンケートやワークショップ、パブリックコメントなどにおいて、多くのご意見をいただきました(P4～P44)。このような過程で把握した市民ニーズを参考に、(仮称)中央図書館整備計画(素案)では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
6	P05	市民や団体等のニーズ調査から整備計画に細かく反映されています。また、スペースや機能配置、蔵書数など物足りなさを混じますが、限られた予算や立地条件の中、多様なニーズに応えながら、持続可能なあり方を追求した計画だと思います。 内装の設え、什器は高品質で品格ある落ち着いたものにして欲しい。	Ⅱ市民・団体等ニーズ(P4～P44)にあるように、ワークショップや様々な方へアンケートを実施するなど、市民の皆さまとの協働により、(仮称)中央図書館整備計画(素案)を策定しました。パブリックコメントでのご意見を考慮し、成案化します。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
7	P05	(仮称) 中央図書館整備計画を実行する主体・体制、その間行われる市民との対話など、整備までのプロセスが盛り込まれていないように感じました。対話プロセスについては他自治体で実施された市民との対話プロセス事例がいくつもあるかと思います。うまく進んだケースもあればそうでなかったケースもありますが、多様な世代の参加が可能になるような事例の情報収集と、対話の場の構築をお願いします。 私の仲間たちとはこの図書館を未来につなげる、市民とともに育つ施設にしていきたいと考えています。ぜひともに活動していきたいと思っています。 また、特に市民に期待する役割などがあれば盛り込んでください。	P48に示すとおり、サービス計画②に市民との協働を掲げており、引き続き、すべてのサービスにおいて、協働の視点で取り組みます。 ご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
8	P05	中央図書館はアンケートの結果を尊重する形でできていると思います。配置もいいなと思います。	ご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
9	P05	市民・団体等の意見聴取や意見の整理は大変でしたね。この他にも基本構想に関わる地域の方々の求めに応じ、出前講座や説明会、タウンミーティングとねばり強く幾度となく、市民の声に耳を傾けてられました。 教育長のメッセージ「はじめに」には、豊中市の図書館は昭和20年3月に市役所内に開館して以降、図書館法がめざす国民の教育と文化の発展に寄与するためとあります。市民主催の「中央図書館を考える連続講座」でも「戦火の中で誕生した豊中市立図書館」と題し、今につながる「市民と図書館はどう育ち合ってきたのか」と話を進められました。80年の時を経た今、何も知らなかった私は「これからの図書館を育て合うために」を考え始める大きなきっかけがありありがとうございました。	ご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます
10	P05	図書館行政に関する市民参画の機関として「図書館協議会」があります。この計画の出発から今日に至るまで、この協議会が果たすべき役割が、どのようにして果たされたのかわかりません。形骸化している危険性を感じます。現状と課題を示してください。	平成31年に図書館協議会から「豊中市立図書館における中央図書館機能について意見書」の提出がありました。その意見を踏まえ、本市の図書館ネットワークのあり方を検討し、再構築に取り組んでいます。取り組みの進捗を適宜、協議会に報告し、その都度、ご意見をいただき、(仮称) 中央図書館の整備に取り組んでいます。
11	P17	中高生の自学自習室のニーズについて、図書館内に設置する必要性についてはどのように考えていますか。公民館などの活用を充実させることも必要ではないでしょうか。	(仮称) 中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、特に中高生から自学自習室の設置が多く求められました。これまで利用しにくかった中高生などが図書館を利用するきっかけとなるよう設置を進めます。 ただし、自学自習室は中高生だけでなく、誰もが利用できる場所であると考えています。 公民館では、各公民館の状況に応じて、自習スペースを設置しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
12	P20	子育て世帯のアンケート結果から、会話しながらすごせる、飲食できる、子どもが安心してすごせるニーズがあることについて、児童館がないために図書館に求めざるを得ないのではないですか。	市民ニーズ調査では、「子どもが声を出しても気兼ねなくすごせるような工夫が欲しい」や、「子どもと出かけて、お弁当と一緒に食べてすごせるよう飲食できるスペースを設けて欲しい」などのご意見のほか、子どもや親子での利用を想定した図書館づくりに期待する声が多数寄せられました。それらを参考にサービス計画や整備計画を立案し、取組みを進めます。
13	P46	地域館、分館の支援の記載について、支援とあるが、具体的に地域館、分館の位置付けがどうなるのか不明です。管理機能を中央に集約するという意図はともかく、その他が現状と比較してどうなるのかという説明が欲しい。	P46や豊中市立図書館みらいプランで示すとおり、（仮称）中央図書館は、あらゆる図書館サービスの中心、地域館（庄内・千里図書館）は、それぞれの地域において中央館機能を補完する、分館はより身近に本と親しめる空間として役割を示しています。
14	P46	豊中市立図書館みらいプランで示された図書館の位置付けによると、選書は中央館でのみ行われます。地域のそれぞれの図書館を利用する市民の利用傾向などは反映されるのでしょうか。司書の力を発揮して、より市民のニーズに応える図書館、市民のニーズを生み出す豊かな蔵書構成を期待します。そのためにはすべての職員の専門性を大切に、中央館はネットワークの核であっても、他の図書館と上下関係ではないことも重要だと考えます。	これまで野畑図書館で行ってきた選書業務を中央館に移します。P69で示した蔵書の構築のとおり、選書を行います。
15	P47	中央図書館の建設予定地には老朽化した建物があります。建替えの準備が具体的に進行している中、市の整備計画には説明がありません。なぜですか。「人と人をつなぎ、にぎわい溢れる中央館」「すべての人が利用しやすい中央館」などの方針を示していますが、人と人をつなぎ、賑わいを創出するのは図書館だけではありません。市は事業者と協議しているはずですが、建替え後の施設の全容を明らかにし、その建物に入居する図書館の姿を問うべきです。建物の外観はどうなるのでしょうか。市のシンボルとなるような中央館になるのでしょうか。	（仮称）中央図書館整備計画は、Ⅱ市民・団体等ニーズ（P4～P44）にあるよう、ワークショップや様々な方へアンケートを実施するなど、市民の皆さまの様々なご意見を参考に、（仮称）中央図書館の整備方針や管理運営方針を示すものです。来年度以降、整備計画を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組めます。
16	P47	「歴史コーナー」を設け、「豊中市史」を中心に豊中の歴史をわかりやすく解説し、学校と連携して、わが町の歴史、豊中市民の歴史を人々に知ってもらう活動に役立てて欲しい。既刊であるが中断した「文化財ブックレット」を完成し、たくさんの人々、特に子どもたちが購読できるようにして欲しい。	P47で示すとおり、サービス計画①に掲げた、豊中を知るための地域資料や市政資料の提供や展示に取り組めます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
17	P47	サービス計画①に示されている魅力ある蔵書の提供にあたっては、高齢者にも配慮して欲しい。介護関係の書籍のコーナーを設けてください。巷には介護関係の本も多く売られていますが、「こうすれば認知症にならない」といった根拠のない本や「お金の話」介護職向けの本が多い。正しい知識と介護者や介護される側に立った本をそろえ、その紹介をするコーナーが必要だと思います。	P47で示すとおり、サービス計画①に掲げた、魅力ある蔵書の提供に取り組めます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
18	P47	現在、岡町図書館には相当数の古文書、古典籍類が保存されていますが、これらは当然に中央館に移管されると思いますが、この資料の保管・保存方針、活用方針について触れられていません。市内の古文書は豊中市立図書館のユニークな資料になります。その活用については整備計画に盛り込んで欲しい。	P47で示すとおり、サービス計画①に掲げた、豊中を知るための地域資料や市政資料の提供や展示に取り組みます。 古文書については、現在、図書館・郷土資料館・文書館で保存や公開方法などについて検討しているところです。
19	P47	地域資料コーナーが充実するのは嬉しい。あちこちで、その地域（例えば行基の鯉伝説、北条町と織田信長など）に伝わる様々な言い伝え・歴史・豊中市のこと等、調べようと思うと個人の研究に頼るところが多かったのではないのでしょうか。歴史のある豊中のことを私も知りたいと思っています。	P47で示すとおり、サービス計画①に掲げた、豊中を知るための地域資料や市政資料の提供や展示に取り組みます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
20	P47	サービス計画③に示されている図書館ネットワークでサービスの充実を図る中央館について、豊中市内の公的団体（例えば国際交流センター、男女共同参画センター、とよなか人権文化まちづくり協会など）とネットワークを結び、資料の流れを作って欲しい。	P47に示すとおり、図書館ネットワークでサービスの充実をはかる中央館の方針に沿って、関係機関等とも連携し、全市的な図書館サービスの充実に取り組みます。
21	P47	ベストセラーは不要です。豊中市立図書館は2000年代から学術書の購入がおろそかになっています。兵庫県や東京都の市立図書館を見習って、蔵書の質を高めて欲しい。	P47のサービス計画①に示すとおり、学術書・専門書を含めた、魅力ある蔵書の提供に取り組みます。P69で示した蔵書の構築のとおり、選書を行います。
22	P47	交流、イベント、講座は図書館を使わず別の場所で行うのがよいと思います。	P48で示すとおり、サービス計画②に掲げた、イベント・講座などの事業を引き続き市民と協働で取り組みます。
23	P47	これからも市民協働に取り組み、その成果をアピールし、図書館は市民が創るものということを広く浸透させて欲しい。	P48に示すとおり、サービス計画②に市民との協働を掲げており、イベントや講座などに引き続き取り組んでいきます。
24	P47	資料の多様性を保ち、特定のテーマが排除されない蔵書にしてください。各新聞社や政党から発刊されている新聞もすべて提供し、一つの事象を多面的にとらえられる環境にしてください。思想信条の自由を大切にしてください。	P69で示す蔵書の構築のとおり、選書を行います。
25	P47	季節のイベント（日本の行事の由来などもあわせて学べる）、セラピードッグとの読み聞かせ会、外国人講師による英語絵本（ネイティブの幼児レベル）の読み聞かせや、コミュニケーション会、点字・手話のセミナー、夏休み特設コーナー（海や山の生物に関する本の紹介や、事故防止のセミナーなど）、交通安全、防犯対策（護身術など）、防災のセミナー、食を学ぶセミナー、健康（運動）セミナー、豊中市の歴史、紹介コーナーなどを充実して欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
26	P47	過去のパブリックコメントで意見が出されているように、「自然系の資料や自然情報などのデータの収集・集約」について、サービス方針・サービス計画に盛り込んで欲しい。また、こうした自然系の資料等は豊中市内における情報も含まれるが、それらは「地域・市政資料（開架）」にて閲覧できるようにしてください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
27	P47	漫画のコーナーを充実させて欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

<i>NO</i>	該当か所	意見内容	市の考え方
28	P47	地域資料コーナーの設置が楽しみです。現在岡町図書館で管理している古文書は、どうなるのでしょうか。計画地一帯は原田しろあと館も含めた文化エリアと考えていますか。	古文書については、現在、図書館・郷土資料館・文書館で保存や公開方法などについて検討しているところです。 原田しろあと館との連携事業なども検討します。
29	P47	豊中市のシンボルとなる中央館をめざすのであれば、建物の外観もそれにふさわしい図書館らしいものにしてください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
30	P47	サービス方針・サービス計画については基本的には賛同、期待します。ただし、（仮称）中央図書館の計画地が民有地であること、商業施設内の2階・3階に設置すること、面積が5,000㎡であることなど制約が多く、心配です。（仮称）中央図書館で示した蔵書数、閉架数も減となっています。市民の宝、この豊中の図書館を未来につなぐ身震いするほどの事業となるよう、お願いします。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
31	P47	図書館のサービス方針を5つ掲げてありますが①～⑤までとても大切なことだと思います。この目標が達成される中央図書館であって欲しいと思いました。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
32	P47	サービス計画②に示されている「にぎわい溢れる中央館」について、図書館は本と対話する場所で、にぎわう場所ではないと思います。それが本によってもたらされるにぎわいだとしても、それは図書館の外でのことだと思います。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、豊中市立図書館の基本コンセプト「つながる。私の図書館で。」と定めています。知や情報、人と人、地域と組織、「つながる」という機能を大切にしています。そのようなことから、人と人をつなぎ、にぎわい溢れる中央館というサービス方針を示しています。
33	P47	サービス方針について、図書館はサービスではなく市民の基本的権利を保障するためにはなくてはならないものであることを明記してください。	豊中市立図書館は、図書館法に基づき設置する図書館として、図書館条例で規定しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
34	P47	とよなかブックプラネット事業の推進について、本と中高生を結びつける方法として、以下の提案をします。 ①小学校では週に1回学校図書館で行う図書の時間があります。中学校ではありません。毎朝10分だけの朝読書タイムを設ける学校もありますが、まったくない中学校もあります。中学校でも図書の時間を設けて、自分で調べた内容を発表する授業を行ってください。 ②図書の時間に対応するため、中学校図書館を拡張するのが望ましいがすぐにはできません。よってとよブックルジュニアと称して10代向けの本を豊富に揃えた動く図書館を学校に派遣してください。 ③動く図書館車はカラフルでポップなデザインにします。例えばアニメのキャラクターをデザインしてもいいでしょう。載せる資料はマンガが多くてもいい。さらに学校図書館を図書サービスポイントにし、リクエスト本の受取も返却もできるようにしてはどうでしょうか。 ④中学生にはタブレット端末を貸与しているので、デジタル図書館も利用できるようにします。中学生は学校側ですぐに本人確認できるため、全員に図書館利用者カードを交付します。 ⑤豊中市立図書館みらいプランの既存図書館ネットワークの縮小・削減は延期する。少なくとも中学校は学区の縛りが厳しいいうえに、家から近い方が行きやすいのは言うまでもありません。 ⑥図書館で隣の大学と高校・中学校に呼びかけて、大学生と高校生・中学生の交流サークルを作りましょう。例えばこれから教職をめざす大学生と受験期を控える中高生の相談でも読書クラブでも何でもいい。とにかく図書館に来る仕組みを作りましょう。 ⑦高校のサークルの作品を展示してください。 美術部なら壁画、写真部、映画研究会なら映像上映、アニメ系なら図書館のキャラクターをデザインしてもらいましょう。文芸部の部誌を公開します。何でもいい。とにかく図書館に来てもらう仕組みを作りましょう。 ただし運営はあくまで学生側が行い、基本的には司書の負担が生じないようにしてください。図書館は場所を貸すだけにしましょう。	ブックプラネット事業の一つとして、中学生を対象に、本の紹介コミュニケーションゲームであるビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会を実施するなど、多様な読書・学習活動を推進しています。また、小・中・義務教育学校の全校に司書を配置し、学校への物流便も各校週2回運行しており、各学校図書館にない資料は、他校や公共図書館から借受けることも可能です。 サービスポイントの設置方針については、豊中市立図書館みらいプランにおいて、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。 電子書籍については、在住・在勤・在学の利用者カードを持っている人が借りることができますが、小中学生に貸与されているタブレットで全児童生徒が電子書籍を利用できる環境には至っておりません。また、教職員が授業で電子書籍を使用することもできますが、その都度、電子書籍提供事業者の許諾が必要なこともあり、現時点での活用は難しい状況です。現状では、児童生徒向けの電子書籍のコンテンツが十分でないこと、導入やランニングに必要な予算が高額であることなど、費用対効果の面から活用に向けては課題があり、今後も、電子書籍のコンテンツの動向を注視し、他市の取組み状況を研究します。 豊中市立図書館みらいプランでは、（仮称）中央図書館の候補地3か所について新たな施設配置を示しました。（仮称）中央図書館の計画地が選定されましたので、新たな施設配置について同プランのとおり取組みを進めます。 （仮称）中央図書館案整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。その計画にもとづき、すべての人が利用しやすい環境整備や、大学連携、子ども・若者が学ぶ機会を提供します。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
35	P47	サービス計画①学術的・専門的な資料の提供に関連して以下のように意見を整理します。 1. 現状の問題点 歴史に関して言えば現在の豊中市において、市民は「学術的・専門的な資料」にアクセスすることはできません。例えば、尼崎の場合、市立田能資料館に近隣府県の発掘報告書が置かれていて、市民はいつでも手にとることができます。また市立図書館にいけば専門的な歴史研究書が置かれています。これは古文書など近世文書についても同じことが言えます。 2. 具体的な進め方（提案） 豊中市域のどこにどのような図書を置き市民がいつでも読めるようにするかについて、図書館が考古史料については豊中市立郷土資料館と、近世文書については豊中市文書館ときっちりと打ち合わせを行い、市民のために図書館と郷土資料館・文書館にそれぞれどのような図書を自館におけばよいかを確認するのがいいのではないのでしょうか。 これは考古・近世文書だけでなく、社会福祉、男女共同参画、公民館事業も同じ状況に置かれていると思います。 つまり図書館、郷土資料館、文書館、公民館などがきっちりと連携し、打ち合わせを行い、どのようにすれば市民のためになるかを考えて進めて欲しいと思っています。	古文書については、現在、図書館・郷土資料館・文書館で保存や公開方法などについて検討しているところです。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
36	P48	人との出会いの場であり、情報交換の場にもなるオープンスペースを充実させて欲しい。外国人との交流がはかれる工夫を検討してください。	(3) 諸室・設備等の仕様に示すとおり、オープンスペースの整備を進めます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
37	P48	デジタル化が進む中、世界では子どもたちの思考力や想像・創造力に悪影響があるという理由で、SNSの使用制限など規制が行われることが話題となっています。 子どもたちにこそ、図書館の働きを幼い時から知って欲しいと思います。中央図書館だけが学校図書館とのネットワークや図書館見学を担うというのは、今まで地域図書館が努力し築いてきた関係を壊すことになると思いますので、再考してください。	(仮称)中央図書館は地域館、分館、学校図書館などへの支援拠点となります。現在も、地域館や分館では、学校図書館との連携、団体貸出サービスを実施しており、(仮称)中央図書館開館後も継続します。
38	P48	中央館としての役割を明確にし、地域の図書館との役割の違いを明確にしたうえで、それぞれの違いを踏まえて運営してください。図書館ネットワークの連携を高め、学校図書館との連携も一層の充実を望みます。具体的な活動の中でわかりやすく市民に表明してください。	P46や豊中市立図書館みらいプランで示すとおり、(仮称)中央図書館は、あらゆる図書館サービスの中心、地域館（庄内・千里図書館）は、それぞれの地域において中央館機能を補完する、分館はより身近に本と親しめる空間として役割を示しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
39	P48	諸室・設備等の整備方針について次のように提案します。 サービス計画②の「子ども・若者が学ぶ」を「すべての市民が学ぶ」に変えてください。併せて1番目の「館内見学や職業体験しやすい図書館の整備」を新しく4番目に追加してください。 その理由は、現在の大きく社会変動する中で、学校教育では「自ら調べ、考えること」が重視され、実施されています。同時に、多くの成人にもリスキングの必要が叫ばれています。その意味で、まず開架スペースで図書を見て調べることから始め、最終的には「地域の大学等の書物、資料」を調査、検索を可能にする環境が子どもや若者から成人、すべての市民にとって必須です。	P47～P50で示すとおり、すべての人の学びの支援について、サービス方針①～④を掲げています。豊中市立図書館みらいプラン策定時の課題整理で、子どもや若者へのサービス強化が必要な現状を認識したことを受け、中高生へのアンケートを実施しました。サービス方針②では、その結果から見てきた若年層のニーズに沿った取組み内容を示すために「子ども・若者が学ぶ」としました。ここでの取組みは若年層に限らず、必要とするすべての人に提供するものです。
40	P48	図書館の重要な役割の一つにレファレンスサービスがあると思います。中でも豊富な知識を持たれた司書のアドバイスは図書館利用への意欲を高め、生活を豊かにするうえで欠かせないものです。 このことを仕事上でも個人的にも数々の機会に経験してきました。司書の配置や待遇にどれだけ力を注がれるのかイメージしにくい点が不安です。充実を求めます。	P48で示すとおり、サービス計画①に掲げた、レファレンスサービスの提供に取り組みます。 また人員については、図書館サービスが効率的・効果的に実施できる職員配置を検討していきます。そして、豊中市（仮称）中央図書館基本構想に掲げた、司書の専門性を高めるとともに、市職員として、市の関係部局とも連携しながら、様々な行政課題・地域課題を理解し、「人と人、人と情報、人と地域」をつなぐ図書館のもつ機能を生かした「まちづくりのファシリテーター」となるためキャリア形成プランの作成を進め、人材育成に取り組みます。
41	P48	3×3メートルほどの大きな掲示板をエントランス壁面に設けて欲しい。ホームページの周知だけでなく、来館者に直接伝えることに努力してください。最近では図書館みらい通信が発行され、改善されてきましたが、豊中市立図書館の大きな弱点です。	P48で示すとおり、サービス計画①に情報発信を掲げ、引き続き、積極的に情報発信に取り組みます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
42	P48	当初は「参画と協働」の原則がなおざりにされていたのではないですか。豊中市立図書館みらいプランの広報が不十分で、市民に十分知られていませんでした。市民によって何度もタウンミーティングが開かれ、地域での説明会がたびたび開かれました。すべて市民からの働きかけによるものでした。みらいプランはそうして市民の意向を反映したものになりました。 現在は対話が行われるようになっていますが、今後とも行政と市民が直接話し合う場を積極的に設けることを要望します。	P48で示すとおり、サービス計画①に情報発信を掲げ、引き続き、積極的に情報発信に取り組みます。 また、P48に示すとおり、サービス計画②に市民との協働を掲げ、引き続き、すべてのサービスにおいて、協働の視点で取り組みます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
43	P48	人と人をつなぎにぎわい溢れる中央館について、館内見学しやすい図書館はあまり意味がない。子どもたちには身近な図書館の見学が必要。地域の図書館の人員や環境整備をしっかりとやるべきです。	P48で示すとおり、サービス計画②に掲げた、図書館見学を受け入れることなどを通じて、子どもの学びにつなげる取り組みを進めます。
44	P48	整備計画では団体貸出について何も言及されていません。現在、団体貸出は来館かFAXによる申込みのみですが、新しいサービスとして電子メール等の申込方法のデジタル化を望みます。	P48で示すとおり、サービス計画②に掲げた、市民との協働において、団体貸出などにより市民活動団体を支援します。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
45	P48	ボランティアをすると、わずかでもいいので何かお楽しみがあるといいと思います。無報酬の弊害もあります。例えば、ボランティアをするとマチカネポイントが付くなどはいかがでしょうか。就活を控えた大学生の他にも広くいろいろな世代の人の参加が良い場合はこんなシステムがあったらいいと思います。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
46	P48	図書館整備に関わる方や、今後図書館を利用していく私たち、今後の図書館のあり方について議論する人たちは、図書館は戦時中に開館し、現代まで社会教育を担う施設として多様な人の思いや支えによってその役割を担ってきた歴史を受け止めることが大事なのではないでしょうか。その上で、昨今の社会・経済情勢を踏まえつつも、次の世代につなげる図書館の整備からその後の活用まで情報を共有しながら互いの立場を理解し対話を継続することが必要だと考えます。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
47	P48	図書館というから本やスマホ等での情報の取得が中心の様に思えるが、現在の野畑図書館のようにヨガや体操のように身体を動かし、健康や交流を深める等の活動もっと自由に利用出来るスペースを設けてほしい。そういう場所が少なすぎる。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
48	P48	保育園で働いています。保育園やこども園、幼稚園にとって団体貸出はとてもありがたい。一冊の本で何人もの子どもが楽しめます。しかし、現場の先生は遠くまで借りに行けません。預かる子どもが増え、このあたりの支援が大事となります。どの地域でも希望の本を団体貸出できればと思います。以前は岡町図書館のみでしたが、現在は全館で貸出可能でとても助かっています。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
49	P48	読書ボランティアの支援も今までのようにお願いします。団体貸出室での司書とのやりとりや相談のできる環境と蔵書数の拡大を希望します。また、今までどおりリクエストしたものが近くの地域の図書館で受けとれるようにしてください。	これまでボランティアとの協働で子ども読書活動や読書バリアフリーの取組み、地域資料のデータベース化など様々な取組みを行ってきました。引き続き、市民協働によりサービスを展開し、ボランティア支援室を設けるなど取組みを進めます。リクエスト本についても、引き続き、地域館や分館で受取ることが可能です。
50	P48	図書館見学を希望する学校などの児童に対して、希望があれば図書館利用者カードを作成してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
51	P48	魅力のある、読んでみたいと思える資料を集めた展示コーナーの設置を検討してください。	サービス計画①に示すとおり、資料展示を定期的に行います。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
52	P48	資料展示は市民の要望を取り入れ、市民と協働して取り組んではいかがですか。いろいろな人の目に留まるので、図書館だけでなく市民の情報発信にもつながります。	サービス計画①に示すとおり、資料展示を定期的に行います。また、サービス計画②に示すとおり、すべてのサービスを協働の視点で取り組みます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

No	該当か所	意見内容	市の考え方
53	P48	サービス計画②子ども・若者が学ぶのサービス例に「地域の大学や専門機関と連携した学びの場の整備」とありますが、具体的にどのようなことを考えておられるのか詳しく教えてください。	中高生のニーズ調査では、図書館に期待するサービスとして勉強・学習の支援が多く選ばれました。例えば、小中学生の学習支援に大学生と連携し取り組んだり、メディアリテラシーや金融知識を学ぶ機会を大学や専門機関と連携して実施したり、身近な図書館で気軽に学べる場の提供などが考えられます。
54	P48	日常的に図書館のホームページから蔵書検索し予約しています。便利なシステムですが、本の内容について簡単な解説があると嬉しいです。本の紹介は書店の取組みを参考にしてください。	図書館のホームページで検索した本の情報には簡単な内容紹介が付いています。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
55	P49	外国人専用の多言語対応窓口が欲しい。外国人の方が何かと相談できる体制が取れば、阪大の留学生とか外国人の方がそのまま居住してもらえとも考えられます。窓口でAI通訳がいるとか、デジタル図書館に外国人専用アプリを置くとかでもいいのではないのでしょうか。豊中市在住の外国の方は50以上の国籍にも及ぶと聞きます。外国の方が住みやすいなら当然、流入も増えるし、児童・生徒向けの外国語教育環境もよくなるのではないのでしょうか。子育てN0.1は公教育の質の高さ、医療の質の高さが大切。他の自治体との差別化にもつながります。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を定め(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、人と情報をつなぎ、行きたくなる中央館を掲げ、外国語資料など誰もが利用できる蔵書構築をめざします。また、すべての人が利用しやすい中央館という方針を掲げ、世代や属性、分野など問わず、すべての人が利用しやすい環境整備をめざすこととしています。
56	P49	「にぎやか」「静か」という音もそうですが、「匂い」が気になる場合もあります。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、すべての人が利用しやすい中央館を掲げ(P49)、利用しやすい環境整備として、「にぎやか」「静か」、「飲食可能な閲覧スペース」などのゾーニングも踏まえ、多様な閲覧環境を整備します。同じ建物に飲食店やスーパーなどの出店も検討されることから、音や機能だけでなく多面的に検討していきます。
57	P49	サービス計画④すべての人が利用しやすい中央館の環境整備での空間の整備を重視し、特に目的がなくても本と本の空間を「ボーッ」と訪れることができる図書館を望みます。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、すべての人が利用しやすい中央館を掲げ(P49)、利用しやすい環境整備として、「にぎやか」「静か」、「飲食可能な閲覧スペース」などのゾーニングも踏まえ、多様な閲覧環境を整備します。
58	P49	市民の要望をすべて受け入れるのではなく、それらをまとめて何を将来に残していくかという視点が欠けています。特に離乳食コーナーは必要ではないと思います。図書館以外の建物で子育てセンターが必要ではないのでしょうか。	(仮称)中央図書館基本構想、豊中市立図書館みらいプランの策定過程におけるアンケートやワークショップ、パブリックコメントなどにおいて、多くのご意見をいただきました(P4～P44)。(仮称)中央図書館の整備にあたっては、子育て世帯の方々から、子どもが安心して過ごすことができる空間の確保や、児童書や親子向けイベントの充実などのご意見をいただいております。こうしたニーズはしっかりと受止め、誰もが行きたくなる図書館を市民や事業者とともに創りあげていきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
59	P49	サービス方針④に示す「利用しやすさNo.1」は何を意味するのでしょうか。おそらく担当者の想いなどが込められた表現と考えますが、インパクトが強い言葉でもあると思いますので、もう少し具体的な説明やこの言葉に込めた想いなどを加えて欲しい。	Ⅱ市民・団体等のニーズ（P4～P44）に掲載したように、（仮称）中央図書館に期待するご意見が多数寄せられています。それら多様なご意見を市民と共有し、引き続き意見聴取に取り組みながら、利用者層を広げ、多世代に親しまれる、すべての人が利用しやすい図書館として整備を進めます。
60	P49	サービス方針④に示す、「利用しやすさNo.1」を受け、提案します。ボードゲームを置いてみてはどうかでしょうか。それによって本に興味薄い市民が足を運ぶきっかけになるのではないかと考えます。ボードゲームには脳を活性化したり認知症を予防したりと、たくさんの利点があるそうです。多世代交流にもつながります。ボードゲームを提供することによって課題（例えばゾーニングなどの騒音対策、部品の破損や紛失への対応など）もたくさん生まれると思いますが、「利用しやすさNo.1」を実現するために、これまでとは違うこと、チャレンジすることに前向きな検討をお願いします。図書館＝静かに本を読む場所というような固定したイメージを払しょくし、人と人が通う場所の実現を期待しています。	
61	P49	高齢者スペースと児童・生徒・社会人の自習スペースを明確に区分すべきです。自習スペースは登録制にしてください。交流や憩いの施設ではなく、図書館を整備してください。	P47～P50に示すサービス方針・サービス計画のように、子どもや若者、高齢者まで、すべての人が利用しやすい、多世代に親しまれる図書館をめざすとともに、資料の提供はもとより、人と人をつなぐスペースを設置するなど、人が集まり交流の場となることをめざします。
62	P49	私は古い人間かも知れませんが、にぎやかな図書館、飲食可能な図書館には反対です。アンケートにもありましたが、静かに読書したり、調べたりする部屋はきちんと確保して欲しい。そして少人数であってもグループで学べる部屋も欲しいです。	P49で示すとおり、サービス計画④に掲げた、静かに利用される人も、グループで利用したい人も想定した利用環境づくりを進めます。
63	P49	千里コラボには図書館、公民館が併設されており、スペース的にも利用しやすい。歩いて行って誰もが利用できるランチの充実こそ望ましいと感じます。高齢者・障害者など多世代、特に地域館、分館などで子ども世代への支援を考慮して欲しい。	P49で示すとおり、サービス計画④に掲げた、すべての人が利用しやすい環境の整備をめざします。また、中央館の機能として地域館、分館、学校図書館などの支援を通じ、子どもの読書環境の充実に取り組みます。
64	P49	高齢者や障害者にとって利用しやすい建物、無料駐車場の設置、書籍の配置等々、当事者側の視点で行なってください。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様にユニバーサルデザインの考え方に基づき、すべての人が利用しやすい環境づくりに取り組みます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。また、駐車場料金につきましては、今後、民間事業者と協議します。
65	P49	市民が滞在できるスペースには、できたら一人掛けの椅子を置いて欲しいです。二人三人掛けベンチやソファでは誰か一人座っているとその横には座りづらくなります。一人掛けの椅子であれば好きな所に動かして自由に使えます。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

<i>NO</i>	該当か所	意見内容	市の考え方
66	P49	椅子はふんだんに設置されているとよい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
67	P49	建物はコンクリート打ちっぱなしではなく、温かみのある木目や壁にして欲しい。 本を選んで、腰掛けて見られるようなベンチを本棚のそばにたくさん作って欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
68	P49	子どもの本と成人の本を一つの窓口で返却したり借りられるようにして欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
69	P49	電子書籍を充実するなどデジタル化を推進する一方で、子どもが一人でも図書館に行き、借りやすいように現行の図書館利用者カードは残したり、セルフ貸出機で借りる場所に案内役を配置したり、対面でも借りられるカウンターを設置してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
70	P49	ブックスタート事業や学校図書館への支援は大事です。継続して支援してください。	子育て支援や学校図書館支援については、P48、49サービス計画③④で示すとおり、引き続き取り組みます。
71	P49	足音が響く床は歩くほうも、聞くほうも気になるため、床は靴音が響かないものにして欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
72	P49	先進的な図書館の取り組みを参考に、誰もがゆったり本を選び、読める図書館になることを願います。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
73	P49	ご意見箱を設置するなど、市民の声を届ける仕組みを設けてください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
74	P49	図書館を利用し本を借りることが煩わしくなる要因として「返却しにくい」という点があるように思います。 そこで、利便性が高い場所にサービスポイントを設定することに加えて、返却ボックスを駅などハブになる場所に設置し、返却場所を増やすことで市民が利用しやすい図書館になるのではないのでしょうか。 また、サービスポイントについては24時間利用できる仕組みを作れないのでしょうか。仕事が遅くなりサービスポイントが閉館していると借りられないままになることもあります。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
75	P49	障害のある人に配慮した館内環境を整備してください。	ご意見を参考に、P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様に示すユニバーサルデザインの考え方に沿って整備を進めます。
76	P49	情緒障害、精神障害をもっておられる人たち（子ども含む）も利用できる図書館にしてください。 一人ひとり、一つの興味をもつととことんこだわり、専門的な本を見たり図鑑なども大好きです。その人たちがまた周囲の利用者さんもすべての人が安心して利用できる図書館にしてください。	蔵書数を見直し、余裕のある環境作りをめざすとともに、人混みなどで音や光の刺激に反応してパニック状態になりそうな時、体調や気持ちを落ち着かせ、休むことができる、カームダウン・クールダウンスペースを設置する方針です。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
77	P49	一時保育のサービスについて 私は疑問です。子育て支援の領域とかぶってるところではないでしょうか。市としてどう一時保育を考え運営しているのか今後していくのですか。子ども未来部だけでなく図書館の立場で意見交換し、一時保育を市として充実していく（横のつながりのなかで）ようにすれば予算（現状図書館の一時保育の予算）は図書館本来の活動に有効に使えるのではないのでしょうか。	図書館で実施している一時保育事業は、図書館が生涯を通して学びの場となり、地域活動の活性化やまちづくりに資する役割を担うことをめざす中で、これまで図書館を利用しにくかった子育て世代に対する新たなサービスとして実施しているものです。引き続き、他部局・他機関との連携を進めます。
78	P49	サービスポイントでも図書館とすぐコンタクトが取れるようにしてください。	豊中駅図書サービスポイントでは、配置している警備員へお伝えいただければ、必要に応じて図書館職員へ連絡し、対応が可能です。
79	P49	子育て支援は市の担当部局との連携を深め、よりよいサービスを考えてください。図書館もブックスタートをこれからもやっていくのであれば、市の子育て支援の現状を理解したうえで、「すべての子どもだちに絵本を」という理念をもって運営してください。	引き続き、他部局・他機関との連携し、取組みを進めます。
80	P49	保護者が本をゆっくり本を探したり、司書と相談できるように、0～3歳児を預かる場所を設けて欲しい。	一時保育スペースは、P52で示すとおり、2階子ども関連スペースに設置する方針です。
81	P49	子育て支援のため、読書スペースとは別に、託児や遊べるエリアがあるとうれしい。	
82	P49	学校図書館をはじめ団体への支援がおろそかにならないでしょうか。ネットワークが整備されるなら中央館でなく、地域の図書館でのサービスも可能になりませんか。	学校図書館や団体貸出にかかるスペースは、P53ページに示しています。（仮称）中央図書館は地域館、分館、学校図書館などへの支援拠点となります。現在も、地域館や分館では、学校図書館との連携、団体貸出サービスを実施しており、（仮称）中央図書館開館後も継続します。
83	P49	行政の公平性の観点から、（仮称）中央図書館整備計画は中央館に限定した内容になっていることは問題です。このような地域格差をもたらす原点にある基本構想から作り直すべきです。すでに庄内幸町図書館を廃止し、整備計画の内容を変更し、市民をごまかしています。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところです。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。
84	P50	サービス計画⑤に示されている公園や商業施設との連携とは具体的にどういうことですか。行政主導の図書館は営利目的であってはなりません。市民すべての人々へのサービスです。また、本来の中央館としての役割をそれらと連携することによって失ってしまわないようにしてください。	（仮称）中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館を掲げています。また、そのサービス計画として、公園の活用や、商業施設等の連携を掲げ、具体的には、公園での読み聞かせ、複合施設に入る店舗との連携事業、地域行事への参加などです。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
85	P50	商業施設等と連携する必要はありません。公的セクターであることを忘れないで欲しい。	(仮称)中央図書館は、民間事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。地域の活性化をめざし、商業施設や近隣施設などと連携した取組みは必要と考えます。
86	P50	デジタル化の推進については、経済的・社会的格差によってデジタル機器の恩恵を受けられる格差（デジタルデバイド）があることをに配慮してください。	P50に示すとおり、サービス計画④に掲げた、デジタル化の推進について、デジタル機器を活用した図書館利用の支援に取り組みます。
87	P50	すべての人が利用しやすい中央館について、「利用しやすさNo.1」をめざすのであれば、阪急曽根駅から直接図書館にアクセスできる通路を整備するのが一番必要だと考えるがどうですか。障害者がアクセスしやすい1階部分の造りが必要。1階部分の計画がわからないのは整備計画を作るうえでいいのか。どういう1階部分にするのか検討してください。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様にユニバーサルデザインの考え方に基づき、すべての人が利用しやすい環境づくりに取り組みます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
88	P50	中央公民館など他施設との連携とありますが、具体的な連携の取組み、内容、課題等についてご教示ください。	親子向けイベントの開催など子ども読書活動の推進や、図書館で保管する地域の写真などをイベント時に展示するなど多岐にわたり連携の取組みがあります。引き続き、図書館と公民館や郷土資料館が一体となって、社会教育の促進に取り組んでいきます。
89	P50	公民館や公園とはしっかり協議し連携してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
90	P50	サービス計画⑤では、公民館と一体的に取組を進めるとあり、特に期待しています。総合的に生涯学習センターとしての機能を果たして欲しい。参加したワークショップで、茨木市のおにクルが話題になり、実際に利用している友人に案内してもらい見学しました。生涯学習の機能は参考になりますが、同じものを作る必要はないと思います。中央図書館・中央公民館・芸術文化センター等が融合して、「音楽あふれるまち」豊中を訴求していけばよいと思います。本件に関しては、魅力文化創造課と読書振興課が、協力することが必要だと思います。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
91	P50	サービス計画⑤には公園の活用が示されています。公園の費用に図書館の費用を使わないで欲しい。	公園での読み聞かせなど、公園を活用し、公園との相乗効果を生み出す取組みを進めます。
92	P50	他の公共施設や関係機関との連携 について、いわゆるMLA連携についてまったく触れられていません。特に豊中に由来する古文書類は岡町図書館、文書館、郷土資料館でそれぞれ保管されていますが、3施設が連携し保存活用していくべきではないでしょうか。	古文書については、現在、図書館・郷土資料館・文書館で保存や公開方法などについて検討しているところです。
93	P50	市内の施設で活動している人形劇や紙芝居などのグループと連携し、活動紹介できる機会を提供して欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
94	P50	公民館と一体的な取組みの推進とは具体的にどういうことですか。	豊中市立図書館みらいプランでは、新たなサービス展開として、まちを活性化させる図書館サービスの展開を掲げており、公民館や郷土資料館などが一体的に社会教育を促進するとともに、まちを活性化させる拠点として、図書館の資料・情報提供機能を最大限活かしたサービスを展開します。具体的には公民館とスペースの共用や公民館登録団体の発表の場の提供、公民館イベントへの司書派遣などを考えています。
95	P50	中央館から離れた地域に住んでいる人へのサービスのあり方、地域の図書館機能について示して欲しい。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところです。同プランを踏まえ取組みを進めます。 P46や豊中市立図書館みらいプランで示すとおり、（仮称）中央図書館は、あらゆる図書館サービスの中心、地域館（庄内・千里図書館）は、それぞれの地域において中央館機能を補完する、分館はより身近に本と親しめる空間として役割を示しています。
96	P50	令和2年度のオンラインミーティング以降のワークショップに参加してきました。当初から発言していたように曾根駅近くに中央図書館を建設し、中央公民館及び文化芸術センターとコラボし、シナジー効果を生み出すことを期待しています。曾根駅近くの設立は決定事項なので、シナジー効果を期待します。	豊中市立図書館みらいプランで「まちを活性化させる図書館サービスの展開」を新たなサービス展開の一つに掲げました。 （仮称）中央図書館案整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました（P50）。また、曾根駅周辺については、（仮称）中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。
97	P50	サービス計画⑤に示されている他機関や公園、商業施設との連携は、最低限でかまいません。迷子など安全面に関してできればいいです。図書館には豊富な蔵書があり、それを大切にしている図書館があること自体が、私はまちの大きな魅力だと思います。	
98	P50	豊中の活性化のため、（仮称）中央図書館の整備をきっかけに、曾根駅前を駅からつながる一帯としてまちづくりして欲しい。	
99	P50	まちの魅力を高める中央館について、中央公民館から文化芸術センターに至る一帯をまるごと整備する必要があります。「有機的につながり」や「一体的な取組みを推進」などのソフト面ばかりでなく歩道の整備、曾根駅から中央図書館を通り、文化芸術センターまで高架でつなぐなど（例えば阪急西宮ガーデンズ）、目に見える形での中央図書館の存在感を示して欲しい。	豊中市立図書館みらいプランで「まちを活性化させる図書館サービスの展開」を新たなサービス展開の一つに掲げました。 （仮称）中央図書館案整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました（P50）。また、曾根駅周辺については、（仮称）中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
100	P51	飲食可能なスペースを設けるのであれば、市民によるコミュニティカフェを設定してはどうでしょうか。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づき整備計画を示しています。市民との協働についてP51に示しています。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
101	P51	図書館利用者の利便性を考慮し、カフェやファストフード店などを誘致して欲しい。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を定め(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました。その方針に基づき、商業施設等との連携をめざしています。民間事業者では、現時点で飲食店の入居も検討されています。
102	P51	カフェを併設して、館内の本を持ち込んで読めるなど、もっと気楽に利用できる様な、リフレッシュの場になるといいと思います。	
103	P51	3階に設定されているグレー部分は図書館スペースではなく民間スペースということですが、カフェなどを入れて欲しい。	3階の民間スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
104	P51	どのような人が(子連れの親、小学生、社会人、など)どのように図書館で過ごせるのかを具体的な例として文章やイラストなどにすると利用者がイメージしやすいです。 整備しようとされる図書館の魅力を広く伝えることにつながると思いますので、計画に盛り込めませんか。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
105	P51	複合施設間でしっかり連携することが大切です。防音設備の必要性が共有されているとないのでは、使用開始後の施設用途に制限が加わるなどの想定していないトラブルが起こることがあります。複合施設とするならば、図書館だけでなく、複合される施設や部屋の整備計画もあわせて考慮すべきです。	今後、施設の機能配置を具体化するにあたっては、P50で示すとおり、サービス方針⑤に沿って公民館や文化芸術センターなど近隣施設に加え、同じ建物に入居する商業施設等との連携や互恵性を考慮して、進めていきます。
106	P52	(仮称)中央図書館整備計画は、今後の検討材料のようで、具体化された建物の基本設計などは示されていません。これまでの意見集約に止まっています。建物は複合施設となることが決定しているようです。複合施設内の図書館は他の自治体でもPFIによるなど多くなっていますが、図書館を中心にして関連施設を配置するのか、商業施設にテナントとして図書館が入るのかによって、基本設計は大きく異なります。 図書の搬入・搬出や装備・データ登録など図書館には裏方作業も多く、このスペースを他のテナントに圧迫されては住民サービスに不備をきたします。まず、この方針を決定されることを希望します。すでに決定済みでテナントの可能性が高いと思われますが、そうであればなおのこと、裏方作業をどの範囲まで図書館内に取り込むのか、重要な課題になると思います。 多くの市民が図書館に望むのは、日本小説と実用書の充実です。市内の書店数はすでに図書館数より少なくなっていますので、新刊の早期貸出開始の要望は今後とも強くなると思います。そのためにも、現物による選書やその装備を含めた裏方作業の充実が必要です。このことも計画に盛り込んでください。	(仮称)中央図書館は、事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。 ご意見を参考に、施設の管理・運用についても民間事業者と協議を進めていきます。 (仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づき整備計画を示しています。 搬入・搬出にかかわる物流拠点の整備については、P52で示しているほか、作業スペースなども含めた、バックヤードも整備していきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
107	P52	障害のある人にも配慮し、曾根駅から図書館までの安全なアクセスに配慮してほしい。また複合施設の中で子どもが安心して過ごせる図書館にして欲しい。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様にユニバーサルデザインの考え方に基づき、すべての人が利用しやすい環境づくりに取り組みます。 来年度以降、整備計画を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
108	P52	図書館が新たに建設されることに賛成しますが、図書館だけ作っても豊中は盛り上がらないのではないのでしょうか。図書館の新設をきっかけに、曾根駅前エリアをリニューアルする必要があると思います。 せっかく素晴らしい文化芸術センターがあるので、曾根駅に2階改札口を新設し、2階改札口から通路で図書館と文化芸術センターを接続してはいかがでしょうか。	豊中市立図書館みらいプランで「まちを活性化させる図書館サービスの展開」を新たなサービス展開の一つに掲げました。 また、（仮称）中央図書館整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました（P50）。 なお、曾根駅周辺については、（仮称）中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。
109	P52	私は文化芸術センターの近くに住んでいるのですが、センターで大規模なイベントがあった際、イベントの前後はたくさんの方が曾根駅を利用されます。そういった方々が立ち寄ってご飯やお茶ができる場所が曾根駅周辺にはあまりありません。図書館の建物にぜひとも飲食店を誘致してください。そうすれば市外から来られた方々にお金を使ってもらえます。 今はただ文化芸術センター前道路が渋滞したり、来場者の騒音で迷惑だなと感じている曾根の住民も、税収が上がれば公共施設の充実につながり、みんなが納得できるまちづくりになるのではないのでしょうか。	豊中市立図書館みらいプランで「まちを活性化させる図書館サービスの展開」を新たなサービス展開の一つに掲げました。 また、（仮称）中央図書館整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました（P50）。その方針に基づき、商業施設等との連携をめざしていきます。民間事業者では、現時点で飲食店の入居も検討されています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
110	P53	今回の中央図書館では、活字本をそのまま読めない人が、あるいは家族が、図書館を訪れたときに、受け止めてくれる窓口をが見当たりません。総合窓口になんか含まれているのでしょうか。 中央図書館に、ディスレクシアの本人や家族、あるいは、弱視の人が来たときに、さっと、総合窓口で対応できるのでしょうか。 障害者関連スペースにも、窓口となるスペースの記載はありません。 資料が開架とありますが、点訳と音声デイジーなどという文言しかありません。 多様な形の読書への準備と信頼される窓口をつくることは必須と考えます。 読書バリアフリー法ができ、行政は、より厳しく、すべての人が視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、もって障害の有無に関わらずすべての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与しなければならなくなりました。 インクルーシブ教育で知られる豊中市ならば、児童コーナーに、多様な子どもための読書相談窓口もあっていいのではないのでしょうか。	P49で示すとおり、サービス計画④に掲げた、すべての人が利用しやすい環境の整備をめざします。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
111	P53	新聞雑誌コーナー100㎡より拡大すべきです。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
112	P54	子育て世代などの求める市民同士の交流やオープンスペース、飲食スペースや自習室は、図書館以外の場所で市が確保して行なうべき事業ではないでしょうか。 図書館と言いながら、本来の図書館としての機能が薄まる構造になってしまうことを危惧します。市民ニーズを（仮称）中央図書館ですべて叶えようとしすぎていると感じます。	（仮称）中央図書館基本構想、豊中市立図書館みらいプランの策定過程におけるアンケートやワークショップ、パブリックコメントなどにおいて、多くのご意見をいただきました（P4～P44）。（仮称）中央図書館の整備にあたっては、子育て世帯の方々から、子どもが安心して過ごすことができる空間の確保や、児童書や親子向けイベントの充実などのご意見をいただいております。こうしたニーズはしっかりと受止め、誰もが行きたくなる図書館を市民や事業者とともに創りあげていきます。
113	P54	施設の1～3階までを吹抜けにして欲しい。	P54で示すとおり、諸室・設備等に掲げた事項に沿って、ご意見も参考に、各階層のつながりを感じられる配置について今後検討していきます。
114	P54	駅からのアクセスは、たとえば図書館への直結の通路をつけるなど、スムーズな動線になるように検討してください。 また、建物内も図書館にアクセスしやすいように、特に子どもや高齢者、障害のある人に十分配慮した設計にすること、商業施設との複合ということなので、子どもだけの図書館利用も安心して行けるように、商業施設の環境にも配慮が必要です。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様にユニバーサルデザインの考え方に沿って、すべての人が利用しやすい環境づくりに取り組めます。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設の具体化を図ることになっています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組めます。 引き続き、誰もが利用しやすい環境整備となるよう、民間事業者との協議を進めます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
115	P54	曾根駅を通る阪急電車や、大阪国際空港に向かう飛行機、そして遠くの山並みがよく見えるような造りにして欲しい。また曾根駅側から文化芸術センター側までの壁面をガラス張りにして、眺望が楽しめるとういです。桜や梅、季節の草花が楽しめる庭園も欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
116	P54	図書館の入口はすべての人にわかりやすいようにして欲しい。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
117	P54	車椅子利用者が利用しやすいように、通路を広めにして欲しい。	ご意見を参考に、P54で示すように、諸室・設備等の仕様に示すユニバーサルデザインの考え方に沿って整備を進めます。
118	P54	防犯カメラ設置は、利用者の秘密を守る観点から、望ましくないと考えます。	個人情報の保護は、職員のみならず、すべての人が遵守すべき事項です。（仮称）中央図書館は1フロアが2,000㎡を超えます。安全で安心して図書館を利用していただくため、防犯カメラを設置します。
119	P54	来館者の安全配慮してください。 曾根駅前の車道は交通量が多く、横断は危険を伴います。また図書館は2階のため1階の商店の混雑の中を子どもたちが通ることにも配慮して、2階と曾根駅を直接結ぶ歩道橋が必要です。中央館だから市内各地から市民が利用することを考えて、安全と2階の入口をはっきりさせてください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
120	P54	施設内の案内サインや動線は利用者、特に子どもや障害者に分かりやすく、安全に行けるように配慮してください。このことは他テナントともしっかりと話し合い協議してください。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様にユニバーサルデザインの考え方に沿って、すべての人が利用しやすい環境づくりに取り組みます。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
121	P54	蔵書やサービスはもちろん大切ですが、明るく使いやすく、皆が行きたくなる施設になってほしいと願い、以下の点を要望します。 ◎1階からのアプローチを広く大きく取り、図書館の存在がスーパーマーケットより目立つようにしてください。 ◎エントランスは無機質な探知装置を置くのではなく、大人も子どももワクワクするような楽しい雰囲気にしてください。 ◎文化芸術センター側にも出入口を設けてください。 ◎できるだけ天井を高く、外光を取り入れられるような設計としてください。 ◎人の動きと自動車の動きが交差することのないようにしてください。	諸室・設備等の仕様は、P54～P66で示すとおりです。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
122	P54	相談サポートカウンターの設置が必要です。	総合窓口やレファレンス相談窓口は、P51で示すとおり、設置する方針です。
123	P55	窓側の明るさを活かした開架書架の配置や新聞・雑誌コーナーの設置を検討してください。	(3) 諸室・設備等の仕様に示すとおり、館内の整備を進めます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
124	P55	10代向け資料は、資料を置くだけでなく、コーナーを作り居場所と集える場となるようにしてください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
125	P56	親子トイレは父親の利用も想定した造りに配慮してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
126	P56	団体貸出資料倉庫の所蔵冊数は何冊か、書かれていません。想定している冊数を示してください。	資料の形態等により開架スペースに配置しにくい資料を中心に収蔵する予定です。所蔵冊数は今後検討します。
127	P57	整備計画に記載されている一般資料に音楽テープ、CDなども含まれていますか。障害者用資料に、点字図書、音訳図書なども含まれていると思いますが、音訳図書、音楽のテープやCDなど視聴できるスペースもあればよいと思います。	音楽テープやCDは、一般資料に含んでいます。また、点字図書や、音訳図書などは障害者用資料に含んでいます。テープやCDが視聴できる機器やスペースの設置については、ご意見も参考に今後検討します。
128	P58	多機能コピー機を設置し、操作のサポートができる人を配置して欲しい。視覚障害者のための機器を置いてはいかがですか。	(3) 諸室・設備等の仕様に示すとおり、複写用コピー機を設置します。また、障害者関連スペースのあり方を検討する中で、設置する機器の検討を行います。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
129	P58	レファレンススペースには、広い机や隣席との余裕のある間隔など、ゆったりとしたスペースを設けてください。また、スタッフと相談しやすい窓口の設置も必要です。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
130	P58	蔵書検索端末は2台置いてください。	スマホ等で図書館ウェブサイトアクセスし、蔵書検索ができる環境が整っています。ご指摘の部分では、レファレンススペースの想定台数を示しており、館内全体の設置台数は今後検討していきます。
131	P59	集会室を利用しやすいように充実させて欲しい。	(3) 諸室・設備等の仕様に示すとおり、集会室の整備を進めます。
132	P59	(仮称) 中央図書館に自学自習室を設置して欲しい。	(仮称) 中央図書館整備計画(素案)の策定過程におけるアンケートやワークショップにおいて、自学自習室の設置について多くのご意見をいただきました。自学自習室は、P52に示すとおり、設置する方針です。
133	P59	自学自習スペースについては図書館の外に設けるべきです。図書館内には図書館の資料を使って学習する参考室的な学びの場にしてください。図書館資料に関係のない自学自習スペースは、図書館内に必要ありませんし、図書館が閉館してしまえば使えないのは利用者にとっても不便です。塾帰りの子や仕事帰りに学びたい人が閉館後も使えるようにするのが「市民ニーズ」だと思います。中央公民館と連携とあるように、中央公民館などに設置したほうがいいのではないのでしょうか。	(仮称) 中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、自学自習室の設置が多く求められました。自学自習室では資料の閲覧を可能とすることもできますし、閲覧スペースでは図書館資料を用いた調査・研究利用を優先することもできます。なお、公民館では、各公民館の状況に応じて、自習スペースを設置しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
134	P59	自学自習室として自学自習に特化したスペースではなく、閲覧スペースに自習も可能なコーナーを設置してください。	（仮称）中央図書館整備計画（素案）の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、自学自習室の設置が多く求められました。自学自習室では資料の閲覧を可能とすることもできますし、閲覧スペースでは図書館資料を用いた調査・研究利用を優先することもできます。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で、自学自習室のあり方踏まえ、市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
135	P59	自習学習室を30席程度を確保とありますが、図書館の中につくるには、あまりに大きなスペースです、それは図書館利用の観点からも異なる使い方ではないかと考えます。図書館の管理下でなく、図書館の外のスペースにつくるべきではないかと考えます。その分、建築経費も軽減できます。	
136	P59	自学自習室を設け、図書館としての役割を果たすためには、机と椅子しかない単なる自習室ではなく、開架図書の一部にある場所として設定されるべきです。そうした身近に図書のある環境こそが子どもから中高生までの「知への入門の場」となるはずです。	
137	P59	セミナー室、自習室の設置を希望します。	グループ学習室や自学自習室は、P59で示すとおり、設置する方針です。
138	P60	例えば、こども本の森中之島のような、階段も図書館の一部として、本をならべ、段差を低くし、階段に腰掛けて読んだり、お話を見ることができるようにはどうでしょうか。	P51で示すとおり、自然と交流が生まれるオープンスペースの整備方針を掲げています。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
139	P60	飲食可能な閲覧スペース等も考えられていて、明るい活気のある図書館が想像されます。しかしながら、図書館の主役はやはり書物等資料だと思います。図書館で借りた本の間に食べかすや髪の毛がはさまっていたり汚れが付着していたりすると読んでいる本が急に汚く思え気分が悪くなったりします。飲食可能にするならその辺に配慮が必要ではないでしょうか。利用しやすい環境整備のところに含まれるかどうかわかりませんが、図書館資料を気持ちよく使い続けるために、図書館資料の清潔、衛生面を保つためにどのような対策を考えておられるのか、どのような設備を用意されるのか、計画の中に入れていただけたらと思います。	飲食可能スペースは、2階エントランス付近に設置することを想定しています。 また、同じく2階の子ども関連スペースには、市民ニーズ等で、子どもが安心してゆっくりすごせる場所などゆとりのある空間が多く求められたことから、飲食可能スペースの設置を想定しています。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で、飲食のルールなども踏まえ、市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
140	P60	「飲食が可能な閲覧スペース」とありますが、飲食しながらの閲覧はやめてもらいたいです。飲食と閲覧は明確に区分すべきと考えます。 機能配置の図には2階に飲食可能スペースが2か所書かれていますが、飲食は、できれば1階4階の商業施設でお願いしたい。 図書館に設置するならエントランススペース側だけでいいと思います。	飲食可能スペースは、2階エントランス付近に設置することを想定しています。 また、同じく2階の子ども関連スペースには、市民ニーズ等で、子どもが安心してゆっくりすごせる場所などゆとりのある空間が多く求められたことから、飲食可能スペースの設置を想定しています。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設的具体化を図ることになっています。その中で、飲食のルールなども踏まえ、市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
141	P60	イートインスペースがあるとよい。	
142	P60	すべての人が利用しやすい中央館について、エントランスに飲食可能スペースがあるので、閲覧コーナーには飲食可能スペースを設置するべきではありません。	
143	P60	飲食可能スペースを20人程度が飲食できる広さとありますが、スペースの設定が大きいと考えます、面積を小さくしてコストを下げていく必要があると思います。	
144	P60	エントランスに設けてあるので、子ども関連スペースに飲食可能スペースはいりません。	
145	P60	飲食可能スペースは臭いや衛生面での不安を感じるため、資料を閲覧するスペースと切り離して運用して欲しい。	
146	P60	お弁当を持ってきて子どもとすごすのは別の場所とするほうがいいと思います。小さい子どもが食べて、似た年令の子どもと遊べて、さわりでもいい場所。そして若い母親が子育てや悩みを話しあえる場所があるほうがいいと思います。本離れがすすむといわれる中、親子で図書館に来て、紙の本にふれ、読みきかせや自分で本を選ぶ様子はほほえましく大事な場所です。	
147	P60	本を読みながら、ティータイムができれば家にいるより気分を変えることができ、図書館に通うようになると思います。私はそうしたいです。	
148	P60	飲食可能スペースについては「親子のためのスペース」と目的をはっきり表示しないと誰でも飲食できるのだと誤解され混乱します。下の階に商業施設が入るのだから通常の飲食は図書館外で行うと明記すべきです。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
149	P60	飲食可能な閲覧スペースとありますが、アレルギーのある人が入れなくなる場合があるので飲食スペースはエントランスのところだけでいいのではないのでしょうか。	飲食可能スペースは、2階エントランス付近に設置することを想定しています。 また、同じく2階の子ども関連スペースには、市民ニーズ等で、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められたことから、飲食可能スペースの設置を想定しています。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で、飲食のルールなども踏まえ、市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。 なお、アレルギーについては、容易に掃除が可能な床材の利用や、空気清浄機の設置など、対応を検討していきます。
150	P60	すべての人が利用しやすい中央館について、飲食可能スペースを作るのには反対しないが「閲覧スペース」には必要ありません。閲覧スペースで飲食可能にすると深刻なアレルギーのある人は閲覧スペースに入れなくなります（すべての人…と矛盾）。エントランスで飲食可能ということであれば、閲覧スペースには、飲食用の場ではなくゆったり読めるスペースを増やすべきではないのでしょうか。	
151	P60	子ども関連スペース内に飲食できる場所があると明記されていますが、飲食スペースはエントランス部分にあるので、そちらを利用してもらい、関連スペースでは飲食禁止にしてください。 理由は食物アレルギーの子どもの危険性を配慮していただきたいからです。娘が通う子ども園では、すべての子どもたちが安心してすごせるよう、昼食時の小袋のふりかけの持ち込みは禁止されています。粉末が空气中を漂いアレルギーの子が吸引しないようにとの配慮からです。 概要を読ませていただきましたが、『すべての人が利用しやすい』『すべての人が安心して』といったことを書かれています。 幼い子どもがいて、ちょっとした軽食が可能というのは一見寄り添った嬉しい案のようですが、そのスペースは絵本を楽しむスペースです。 同じフロアに飲食スペースを設けてあれば、目的別にエリア分けをしてください。そうすることで、食べこぼしの誤飲を防げます。 今は多くの子がアレルギーをもっていますし、すべての人が安心してすごせるスペースにしていただけるよう、再検討してください。	
152	P62	おはなしボランティアの読み聞かせ会にたくさんの親子が集まっています。中央図書館に団体貸出室はできるのでしょうか。活動の中心がなくなると困ります。	これまでボランティアとの協働で子ども読書活動や読書バリアフリーの取り組み、地域資料のデータベース化など様々な取り組みを行ってきました。引き続き、市民協働によりサービスを展開し、ボランティア支援室を設けるなど取り組みを進めます。
153	P62	おはなしボランティアをしています。団体貸出室で様々な支援を受けています。中央館にも引き継いで欲しい。残念ながら現在の地域館では相談できる雰囲気がなく、おはなし会で使いたい本も見あたらないという声があります。やはり司書のサポートは重要です。	これまでボランティアとの協働で子ども読書活動や読書バリアフリーの取り組み、地域資料のデータベース化など様々な取り組みを行ってきました。引き続き、市民協働によりサービスを展開し、ボランティア支援室を設けるなど取り組みを進めます。リクエスト本についても、引き続き、地域館や分館で受取ることが可能です。
154	P63	非常時の備えとして活用されるなら、トイレ、洗面台はたくさん作ってください。	（仮称）中央図書館では、一般用・多機能・親子トイレなど、各スペースに必要な設備を設置する方針です。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
155	P65	中央館が入居を検討している建物について、5～10階部分が住居フロアとなった場合、1フロア住戸20室として、最低120室と推定しますが、これらの住戸用駐車場、商業施設用の業者・来客用駐車場・駐輪場が必要となります。その中で、動く図書館車の駐車場や来館者用・福祉車両の駐車場は確保可能ですか。	(仮称)中央図書館整備計画では、来館者用の駐車場（一般車両20台以上、福祉車両1台）や駐輪場（80台以上）の設置について、P65で示しています。
156	P65	屋内駐車場にして、悪天候でも安心して通えるようにして欲しい。	
157	P65	(仮称)中央図書館は、市内の様々な地域から来館することが想定されるため、駐車場や駐輪場の整備が必要です。また、駅前ということで収益面からも駐車料金を有料にすべきです。	(仮称)中央図書館整備計画では、来館者用の駐車場（一般車両20台以上、福祉車両1台）や駐輪場（80台以上）の設置方針について、P65で示しています。駐車場料金については、今後、事業者と協議します。
158	P65	駐車場、駐輪場を複合施設と共用ではなく図書館用に確保してください。無料または図書館利用者への減免・減額措置が必要です。	(仮称)中央図書館整備計画では、来館者用の駐車場（一般車両20台以上、福祉車両1台）や駐輪場（80台以上）の設置方針について、P65で示しています。1階・4階も含めた共用となりますので、必要台数の確保を要望していきます。駐車場料金については、今後、事業者と協議します。
159	P65	(仮称)中央図書館から遠い市民のために「歩いていける図書館」もなくさず大事にして欲しい。遠い市民のために駐車場・駐輪場は無料にして欲しい。	図書館ネットワークの方向性については、(仮称)中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。 (仮称)中央図書館整備計画では、来館者用の駐車場（一般車両20台以上、福祉車両1台）や駐輪場（80台以上）の設置方針について、P65で示しています。駐車場料金につきましては、今後、事業者と協議します。
160	P65	駐車場の利用を無料にして利便性を高めて欲しい。	駐車場料金につきましては、今後、事業者と協議します。
161	P67	2月1日に実施された連続講座で配布された中央図書館設備計画の参考資料に掲載されていた「アンフォーレのつくりかた」を拝読しました。最初のページに安城市のアンフォーレの外観が掲載されています。中央図書館の一つのモデルとして参考資料に掲載されたものと拝察します。外観写真から一目で図書館とわかります。安城市のシンボルと言っても理解できます。 一方で(仮称)中央図書館ですが、1階がスーパーマーケットとして10階建てのマンションの2～3階に入居することになっています。スーパーと図書館があるマンションとしか見えないと思います。マンションとスーパーがある図書館と呼べないと思います。例えばアンフォーレのように2棟に分けられないでしょうか。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、まちの魅力を高める中央館として示しました(P50)。また、曽根駅周辺については、(仮称)中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を(仮称)中央図書館の計画地として選定しました。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
162	P67	3階の40%ほどがグレーゾーンで示され、（仮称）中央図書館の機能配置以外のスペースとなっています。これまでこのようなスペースについての説明はありませんでした。このスペースについて説明してください。	（仮称）中央図書館については、豊中市（仮称）中央図書館基本構想において規模を5,000㎡程度と設定しました。2階・3階で約6,000㎡であることから、3階の約1,000㎡が余剰スペースとなっています。3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
163	P67	3階に大きなグレーで示されたゾーンがあり、何の説明もありません。この部分は図書館ではないのですか。ここが図書館スペースでないとしたら最初の構想から大幅にスペースが削減されたことになります。これは10階建てに変更になったことと関連していますか。住居エリアに変更されたのでしょうか。この部分を削減したために想定資料数を減らしたのでしょうか。	（仮称）中央図書館については、基本構想において規模を5,000㎡程度と設定しました。2階・3階で約6,000㎡であることから、3階の約1,000㎡が余剰スペースとなっています。3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。 豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5,000冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。（仮称）中央図書館の規模約5,000㎡を最大限に活かし、誰もが利用しやすい図書館づくり検討した内容としています。
164	P67	機能配置の3階部分、グレーゾーンが図書館の施設ではないと明記すべきです。曖昧で誤解を生みます。これは1階部分の物流スペースの広さ分、図書館スペースが減らされていることをきちんと書いて、1階部分の物流スペース、障害者のアクセス通路について、想定であっても図に組み込むべきです。	（仮称）中央図書館については、豊中市（仮称）中央図書館基本構想において規模を5,000㎡程度と設定しました。2階・3階で約6,000㎡であることから、3階の約1,000㎡が余剰スペースとなっていますが、（仮称）中央図書館の面積に影響はありません。3階の民間スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。 1階部分については、物流スペースや返却ポストの設置、利用者動線などについて、事業者と協議をしています。現在、1階スペースについては、事業者が入居する店舗などとスペースも含め交渉している段階であるため、想定図面も踏まえ公表することができません。引き続き、適切な時期に、公表できるよう事業者に働きかけます。
165	P67	機能配置により、諸室や駐車場等のスペースを1～3階に配置することはわかりました。（仮称）中央図書館は岡町図書館のように独立した建物になるのか、あるいは、蛍池図書館のように同じ建物内に商業施設も入るような建物となるのかわかりません。一部に「テナントとの連携」という表記があることから、建物のあり方そのものについて知りたい。	（仮称）中央図書館は、事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。
166	P67	機能配置図の3階に一部グレーで示された部分があります。グレーで示されたスペースの活用方法は、いつ市民に示されるのでしょうか。	3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。現在、1階スペースについては、事業者が入居する店舗などとスペースも含め交渉している段階であるため、想定図面も踏まえ公表することができません。引き続き、適切な時期に、公表できるよう事業者に働きかけます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
167	P67	3階の機能配置図右側になぞの空白スペースがあります。図書館機能として有効に活用して欲しい。	3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
168	P67	3階一般開架スペース横のグレーゾーンはどのような利用になるのでしょうか。2階・3階すべてのスペースを図書館に関する諸室や設備等で利用できないのでしょうか。商業施設や飲食店が入るのではないかと危惧しています。	
169	P67	3階のグレーゾーンはすべて図書館にしてください。	
170	P69	豊中には児童館がありません。3階の空きスペースを活用し、児童館を設置してください。そこに児童書をたくさん置いて欲しい。	3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
171	P67	2階の子ども関連スペースと一般開架スペースとが同等程度の広さ、3階に交流スペース・研修室・集会室がある一方、図書館ではないスペースが同じ3階フロアにあります。多機能スペース確保のために、基本構想の蔵書数約55万冊から想定資料数約40万冊へと15万冊も減らしています。5,000㎡で足りないのであれば、3階フロアもすべて市の所有とし、集会室、研修室、自習室などを図書館外に設ける必要があるのではないのでしょうか。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5,000冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。 3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
172	P67	機能配置の図にある3階余剰スペースを含んだエリアを図書館として活用し、蔵書に触れるスペースを確保しながら、余裕のある閲覧空間を設けて欲しい。	蔵書40万冊のうち、開架25万冊は2階・3階の一般開架・子ども関連スペースで配架し、閉架15万冊は、2階の閉架書庫で所蔵します。 3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
173	P67	親子で利用できる飲食スペースなどが求められる一方で、開架スペースが足りておらず児童書を半減させなければならないとのこと。 子連れのためのインドア施設が少ない豊中市で新しく図書館を建ててとなると、市民からは当然、図書館以外の機能のニーズが寄せられると考えられます。 3階グレーゾーンに児童館を設置してはいかがでしょうか。1,000㎡だと中規模の児童館設置となります。 令和元年実施の豊中市子育て・子育て支援に関するニーズ等調査では「お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか」の問いに対する回答で、「雨の日に遊べる場所がない」が64.9%と最も高くなっています。 児童館を併設することで図書館内で飲食スペースを設置する必要がなくなり、児童書も当初の想定資料数を維持できます。あるいは児童館に児童書を置くこともできる訳です。 こ連れ世帯にとって、図書館→ランチ→児童館と長時間をすごすことができる施設となり、子どもと過ごしやすい居場所となります。子育ての時間が激変し、さらに子育てがしやすくなります。	3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。 市民ニーズ調査では、「子どもが声を出しても気兼ねなくすごせるような工夫が欲しい」や、「子どもと出かけて、お弁当と一緒に食べてすごせるよう飲食できるスペースを設けて欲しい」などのご意見のほか、子どもや親子での利用を想定した図書館づくりに期待する声が多数寄せられました。それらを参考にサービス計画や整備計画を立案し、取組みを進めます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
174	P67	細かい配慮がされていると思います。どこに行ったら何があるか、動線が分かりやすいことが大切です。1階部分に図書館への行き方などをしっかり表示して欲しい。3階のスペースは全部図書館にして欲しい。	P54で示すとおり、諸室・設備等の仕様に沿って、適切なサインを設置します。ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。 3階の余剰スペースについては、市有施設としての活用も含め検討する予定です。
175	P67	建物の設計図案など詳細をできるだけ早く公表し、市民の意見を求めてください。決まってからの説明では市民参画・市民協働に反します。 次の内容を開示してください。 ◎図書館は5,000㎡ですが、民間部分の広さ ◎2階・3階の図書館へのアクセス方法。幼児や高齢者、車椅子、ベビーカーなど、バリアフリーで、誰もが入りやすいエントランスが必要。階段、スロープそしてエレベーターは2つは必要。 ◎民間施設を通らなければ入れない図書館には決してしないでください。	民間部分については、1階・3階の一部、4階～10階と予定されています。1階から4階は、1フロア約3,000㎡で、4階までの合計が約12,000㎡です。そのうち、図書館面積約5,000㎡を差引いた、約7,000㎡となる予定です。5階～10階の住居部分の面積は、事業者が計画中です。 アクセス方法等は、P54で示す、諸室・設備等の仕様のとおりに、整備する方針です。 来年度以降、整備計画の方針を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
176	P67	機能配置を示す図からはどのような図書館になるのか具体的なイメージが浮かばない。	来年度以降、整備計画を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
177	P67	返却ポストは1階に設置希望します。	建物1階部分の機能配置を図示していませんが、1階の図書館機能としては、返却ポストや動く図書館の駐車・作業スペースなどを設置する予定です。
178	P68	開架に並ぶことのない魅力的な昔の本に触れることができるような、閉架書庫の探検ツアーを定期実施してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
179	P69	基本構想で示した約55万冊の確保を強く求めます。 2階の一般開架スペースを広げるか、3階の未定床を活用してください。2階の子ども関連スペースを3階の一般開架スペース拡張部分に設置するなど検討してください。	(仮称)中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。(仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5,000冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。 また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保することとし、書庫機能については豊中市立図書館全館で再検討します。
180	P69	基本構想で示された蔵書数より、児童書だけがほぼ半減されました。蔵書減はサービス内容に大きく影響します。図書館にとっては飲食スペースより蔵書が大事です。再考してください。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められたことや、離乳食など飲食できる空間を求めるニーズが高くなり、これまで利用しにくかった子育て世帯が利用しやすい環境整備のため、蔵書数を10万5千冊から5万8千500冊とするとともに、飲食可能スペースの設置するものです。 なお閉架書庫や児童資料書庫、各ストックスペースにも児童書を収蔵するため、児童書の開架冊数は5万8千500冊を超える見込みです。

No	該当か所	意見内容	市の考え方
181	P69	魅力のある蔵書提供に係る整備方針には、資料確保に必要な閉架書庫の整備ありますが、中央図書館の書庫は小さすぎます。中央図書館に資料を集約することはできるのでしょうか。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5,000冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。
182	P69	基本構想から整備計画へと蔵書数が削減された理由がわかりません。「市民ニーズ調査の結果」「市立図書館全体の書庫機能」とはどういうことですか。これまで地域の図書館の存続は、基本構想やみらいプランの決定を理由にしていた。蔵書を中央館に集約するという目的を変更するなら、地域の図書館のあり方も再検討するべきだと思います。今後市民の知的欲求をどう保障していくのか、一から豊中市立図書館のネットワークを考え直すべきです。	豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保し、書庫機能は、豊中市立図書館全体で再検討します。
183	P69	蔵書量が減る、ということならそれをリカバリーするための運用方法を具体的に示して欲しい。 どこかに資料はあるのかもしれないが、概要版にも記載はありません。新たな設備の発信だけでなく、既存のサービスレベルがどうなるか改めて説明が欲しい。現実的に、曽根という地域に気軽に訪問可能な市民は限られます。	P49で示すとおり、サービス計画③で掲げた、(仮称)中央図書館が物流拠点となり、地域館、分館、図書室、図書サービスポイントなど図書館ネットワーク間の資料配送(1日2回)を行います。
184	P69	中央館にどれだけの機能を持たせるのですか。そのためにどんな建物、設備が必要かは市全体の図書館サービスをどうつくっていくのかが前提としてあったうえで決まるものだと思います。 閉架書庫を15万冊に減らして、「書庫機能については全館で再検討」などと中途半端な状態ではなく、書庫をどうするかの方針も慎重に検討したうえで計画に示すべきです。	豊中市(仮称)中央図書館基本構想は、将来ニーズを見据えた新たな図書館サービスの提供と、(仮称)中央図書館を中心とした新たな図書館ネットワークの構築について示しています。また、豊中市立図書館みらいプランでは、基本構想の豊中市立図書館の基本方針等の関連内容を具現化し、新たな図書館サービス網を示しました。そして、(仮称)中央図書館整備計画では、基本構想とみらいプラン、そしてこれまでのご意見を参考に(仮称)中央図書館の整備・運営計画を示しています。 (仮称)中央図書館整備計画(素案)の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5,000冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。 豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保し、書庫機能は、豊中市立図書館全体で再検討します。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
185	P69	中央館の蔵書が約40万冊というのは少ないです。閉架スペースでもよいので、50万冊以上所蔵して欲しい。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の作成過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。そのことから、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架書庫を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり所蔵します。
186	P69	想定資料数が約55万冊から40万冊に減らしています。これまでのように外部団体等に貸出すなどの機能が果たせなくなるのではありませんか。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の作成過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。そのことから、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架書庫を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。なお閉架書庫や児童資料書庫、各ストックスペースにも児童書を収蔵するため、児童書の開架冊数は5万8千500冊を超える見込みです。また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保します。引き続き、団体貸出などへの支援を行います。
187	P69	基本構想で開架30万冊+閉架書庫25万冊＝合計55万冊でしたが、整備計画では開架25万冊+閉架書庫15万冊＝合計40万冊に削減されています。図書館の命とも言える蔵書数、岡町図書館では確保できない蔵書数を確保するため計画された（仮称）中央図書館の蔵書数が3割削減とはあまりにひどい計画です。児童書5万冊削減、閉架書庫10万冊削減です。野畑図書館の書庫をどうするかという言及もないと言うことは、レファレンスになくってはならない閉架書庫の縮小というある意味では命とも言えるものを切り捨てた措置と言えます。また児童書5万冊の削減も、一方で飲食可能ゾーンの設置をしながら、子どもの未来をつくる蔵書を減らして子どもを大切にする中央館といえますか。児童書の本数を減らさない方法はありませんか。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の作成過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。そのことから、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架書庫を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。なお閉架書庫や児童資料書庫、各ストックスペースにも児童書を収蔵するため、児童書の開架冊数は5万8千500冊を超える見込みです。また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保します。
188	P69	想定資料数を約55万冊から40万冊に減らし、それが中央館と言えますか。中央館の蔵書が少なくなることは地域館・分館のサービスにも影響を及ぼし、豊中市民全体へのサービス低下につながります。長い間、豊中の図書館のサービスは全国的に評価されてきました。そのことに誇りをもってください。「55万冊から40万冊に変えました」という表現も苦渋の選択とは思えない軽い言葉でした。	
189	P69	想定資料数の約55万冊から40万冊に削減の意図はなんでしょうか。必要資料を利用できなくなるのではないかと危惧します。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
190	P69	想定資料数が15万冊減らされてしまうのは中央館として知の拠点の図書館として、大きなことだと思います。図書館に行って、新しい発見もできる場、本の種類も増やして欲しい。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の作成過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。 そのことから、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架書庫を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。なお閉架書庫や児童資料書庫、各ストックスペースにも児童書を収蔵するため、児童書の開架冊数は5万8千500冊を超える見込みです。 また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保します。
191	P69	子育て世代へのアンケートの結果について、（仮称）中央図書館にあれば良いと思う空間・設備では、会話しながらすごせる空間、飲食できる空間、子どもが安心してすごせる空間と回答する方の割合が多いが、一方で公立図書館へ求めるものは「子どもの本や育児書などの充実」が一番多く、やはり図書館としての機能をしっかりと維持するためにも、蔵書数や図書のスペースは減らすべきでないと考えます。	
192	P69	（仮称）中央図書館基本構想で示した約55万冊から大幅減の40万冊。特に児童書は40%を超える削減ということで疑問に思いました。 子育てに魅力的な市をめざす姿勢と反するように感じます。広々とした空間を優先し中央館の蔵書を減らすのであれば、子どもの利用が現在多い身近な図書館の削減について見直してください。 特に子どもは公共交通機関を利用し遠くの図書館にわざわざ出かけない子が大多数だと思います。生活圏内にある身近な図書館の果たす役割は非常に大きいのではないのでしょうか。	
193	P69	（仮称）中央図書館基本構想で示した約55万冊から減らされています。特に児童書を減らされてしまっは親子で楽しめる図書館にはならないのではないですか。	
194	P69	基本構想では想定資料数を約55万冊に設定しながら、整備計画では約40万冊に変わっています。特に児童書が58,500冊と大幅に減っているのはどうしてでしょうか。そもそも約55万冊も多いとはいえず、ましてや児童書105,000冊は少ないと思っていました。児童書の冊数について再検討してください。	
195	P69	蔵書を減らした理由を説明して欲しい。今回子どもや子育て世代へのサービスに重視していますが、児童書の想定資料数は当初計画の半分になっています。蔵書はできるだけ減らさないように努力するべきです。	
196	P69	児童書の削減に反対します。児童書はデジタル化できません。できるだけたくさん児童書を置いてください。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
197	P69	今まで豊中で培ってきた大事な資料がたくさんあるはずです。蔵書数は減らしてはいけません。中央館のスペースだけでは収まらないように思います。他館もしっかり利用できるように分館の規模を縮小しないようにしてください。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の作成過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。 そのことから、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架書庫を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。なお閉架書庫や児童資料書庫、各ストックスペースにも児童書を収蔵するため、児童書の開架冊数は5万8千500冊を超える見込みです。 また、豊中市立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保します。また、図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところ です。 なお、同プランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合の、各館の方針を示しており、同プランに沿って取組みを進めます。
198	P69	蔵書数が当初の約55万冊から40万冊に減っています。減った15万冊はどこで所蔵するのですか。野畑図書館の書庫は必要だと思います。廃館予定の岡町図書館や服部図書館の有効活用も必要ではないですか。 アンケートで「蔵書の充実」が上位にあがっています。蔵書の更新も大事だが、それには人と時間が必要となります。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を105,000冊から58,500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。 また、豊中立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保することとし、書庫機能については豊中市立図書館全館で再検討します。 岡町図書館・服部図書館については、豊中市立図書館みらいプランに沿って廃止となります。
199	P69	廃止される分館や野畑図書館の書庫から蔵書を移す管理するという考えはどうなりましたか。	豊中立図書館全体の資料数100万冊は基本構想のとおり確保します。また、書庫機能については、豊中市立図書館全館で再検討します。
200	P69	諸室・設備等の整備方針に「資料確保に必要な閉架書庫の整備」とあります。それを「資料確保に必要な閉架書庫の整備、連携、拡充を中央図書館と分館で行う」に変更してください。 以下にその理由を述べます。 計画中の中央図書館の5,000㎡を考慮しても、現在の蔵書をすべて収納することは困難です。野畑図書館の書庫を有効に機能させることが必要です。野畑図書館の維持費はかなり安く抑えられるはずです。	
201	P69	野畑図書館の書庫は残すべきです。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
202	P70	サービス計画①に「蔵書更新を定期的に行い、鮮度の高い蔵書を提供」とありますが、貸出の多い本、人気の新刊を置くということであれば、それは書店です。図書館の魅力は書店にはもう置いていない本も幅広くあることだと思います。蔵書の選択に市場原理を持ち込むべきではないと思います。	(仮称)中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ(P47)、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。方針の一つとして、人と情報をつなぎ、行きたくなる中央館を掲げ、魅力ある蔵書の提供を行うとし、資料の選択・収集・保存・除籍まで蔵書更新を定期的に行い、鮮度の高い蔵書を提供するとともに、知の蓄積を将来にわたって継続します。また、P68で示すとおり、蔵書構築の方針(基本構想)を実現するため、選書、保存・除籍、レファレンスコレクションを掲げています。
203	P70	豊中市立図書館の運営は、直営を維持して欲しい。	(仮称)中央図書館の運営については、管理運営方式(P70)で示しています。ここでは、これまでの本市の強みを活かし、社会情勢の変化に対応することなどから、直営としています。
204	P70	豊中市立図書館のこれまでの歴史を大切に、運営を直営と明言されたことに感謝します。	
205	P70	図書館運営については直営で行います、と明記されていて本当に良かったです。	
206	P70	図書館は知の拠点であり市民の財産です。昨今、企業が図書館の運営を行えば効率的であるという意見がかまびすしい。しかし、企業は利潤を得ることが目的なのだから「図書館」という市民の財産を利潤追求の道具としようとするのは当然のことです。図書館運営は利潤追求になじむものではありません。運営は市の直営で行うのが当然です。	
207	P70	図書館は市民の文化的財産です。民間委託や指定管理者制度の運営が増える中、市の直営というのはとても嬉しいです。今後もずっと直営でお願いします。	
208	P70	全国的に民間委託、指定管理による図書館の民営化が広がる中「図書館運営については直営」と明記されていることに深く感謝します。図書館が知の集積場所としてあらゆる市民に開かれた質の高いサービス提供の場となるよう、今後とも図書館業務の民間委託をすることのないようお願いいたします。	
209	P70	豊中の財産である図書館を今後何十年と直営であり続けるためにも、民有地の方ともしっかり協議してください。	
210	P70	図書館運営は直営との記載があります。期待します。	(仮称)中央図書館の運営については、管理運営方式(P70)で示しています。ここでは、これまでの本市の強みを活かし、社会情勢の変化に対応することなどから、直営としています。引き続き、図書館法第十七条に基づき、図書館の基本的な利用については対価を徴収しない予定です。
211	P70	図書館運営については直営をとされており、すばらしいと思いました。引き続き、図書館法に基づき無料を堅持してください。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
212	P70	豊中市の人口は、約40万人で、外国人の人口は令和4年で6,471人、92か国になっており、毎年増えています。現在、岡町図書館には、「世界の子どもの本の部屋」があり、50か国7,000冊の絵本等があります。 それを大人の本にも拡大してください。 整備計画(概要)の3サービス方針 4すべての人が利用しやすい中央館 5まちの魅力を高める中央館に基づくと、その国や地域の言葉でその国や地域の生活(歴史、地理、料理等)等を書いた本を数多くそろえることにより、外国人の大人も図書館を利用しやすくなり、国際都市・豊中の魅力をより高めることとなります。 そのためには、5(1)3の障がい者用資料・外国語絵本を障害者用資料・外国語の本に変える必要です。 図書館で様々な外国人の親子がそれぞれの国や地域の本や絵本を日本人の親子と読んでいる姿、子育て日本一とはいえないでしょうか。	P47で示す「魅力ある蔵書の提供」のとおり、子ども、障害者、外国人など誰もが利用できる蔵書構築をめざします。 現在も外国語絵本に加え、成人向け・子ども向け資料や英字新聞など外国語資料の収集・提供に取り組んでいます。引き続き、外国語資料の収集に取り組みますので、P70(3)中央館の蔵書計画③について、外国語絵本から外国語資料に修正します。
213	P70	中央館の蔵書計画には、外国語絵本については明記されていますが、あわせて外国語の児童書についても収集、提供してください。 英語力の向上のために簡単な英語の本を多読することが効果的と聞き、大人の私も現在英語多読に取り組んでいます。読みたい本が豊中市の蔵書にないことが多く、もう少し冊数があると大変うれしいです。	P47で示す「魅力ある蔵書の提供」のとおり、子ども、障害者、外国人など誰もが利用できる蔵書構築をめざします。 現在も外国語絵本に加え、成人向け・子ども向け資料や英字新聞など外国語資料の収集・提供に取り組んでいます。引き続き、外国語資料の収集に取り組みますので、P70(3)中央館の蔵書計画③について、外国語絵本から外国語資料に修正します。
214	P70	30年～40年後に大規模な改修が必要になったときや、建替えが必要になったときも利用者や市民の意見を聞いてください。そのために図書館基金を積み立ててください。民営化をしないようにしてください。	P48で示すとおり、サービス計画②に掲げた、市民との協働を基本に取組みを進めます。(仮称)中央図書館の運営については、管理運営方式(P70)で示しています。ここでは、これまでの本市の強みを活かし、社会情勢の変化に対応することなどから、直営としています。
215	P70	現在の図書館協議会の下に、図書館職員と公募市民からなる協議体を設置し、市民側の図書館運営(中央図書館の管理、運営や、分館、地域館等との連携、運営等)への関わりを推進する仕組みです。 提案の理由を以下に述べます。 読書振興課から市民主催の連続講座で提供された資料には、国内外の図書館の写真や説明が掲載され、それが今回の中央館構想にも生かされているのだと思います。 その中で紹介のあったニューヨーク公共図書館では、運営に市民が直接参加しています。豊中の図書館でも運営に市民が参加できないでしょうか。すでに図書館協議会や市民が図書購入をリクエストできるシステムがあります。 そこで、今回、それをさらに一歩進め、市民自身が図書館運営の一部に参加し、市民がさらに身近に図書館を感じることができるようにするべきだと考えます。	P48に示すとおり、サービス計画②に市民との協働を掲げ、引き続き、すべてのサービスにおいて、協働の視点で取り組みます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
216	P70	閉館時刻が19時や20時では話にならない。地域館である千里図書館が閉館時刻20時であり、それと同じではおかしい。早くても21時までには開けて欲しい。住居エリアもできるということなら、仕事や学校からの帰宅後ニーズもあります。テレビ番組で取り上げられた石川県立図書館では21時まで親子で自習していました。	開館・閉館時間については、P70に示すとおり、市民ニーズ調査にて延長を望む割合が高く、図書館ネットワークを統括する（仮称）中央図書館として、その立地や周辺地域の魅力の向上、ライフスタイルの変化への対応などの視点を踏まえ、職員体制とともに検討します。
217	P70	平日1日でもいいので19時まで開いていて欲しい。	
218	P70	開館時間・休館日について、市民ニーズを優先するあまり、労働環境を過酷なものにしてはいけません。特に休館日は絶対必要です。	
219	P70	開館時間・休館日については市民要求の少しでも応えてください。図書館業務にも詳しくて図書館を大切に思っている方々がたくさんいます。そういう方々のボランティアの力も借りたらどうでしょうか。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
220	P70	休館日を適度に設け、質の高いサービスを提供できる体制をつくって欲しい。	開館時間・休館日については、P70で示すとおり、図書館ネットワークを統括する（仮称）中央図書館として、その立地や周辺地域の魅力の向上、ライフスタイルの変化への対応などの視点を踏まえ、職員体制とともに検討します。
221	P70	利用する側としては、休みが少なく長く開いているに越したことはないですが、それを求めすぎると、働く図書館員に余裕がなくなり、サービス低下につながって、利用者にとってもマイナスになると思います。週に1日は休館日があつていいと思います。職員の勤務体制にも十分配慮して、決めてください。	
222	P70	新しい資料を置き、古くなったものは書架から取り除くという計画は考え直して欲しい。手に入らない資料、古い貴重な資料は図書館へ行けば手に取って読める状態がよい。いつも同じ所にあることでいつでも利用できます。書架から消えたら魅力がなくなります。	蔵書の更新は開架スペースに限りがあるため、引き続き必要な取組みです。古くて利用されなくなったものを書架から取り除くとともに、その中から引き続き市民ニーズの見込めるものは閉架書庫に入れることで、開架スペースの蔵書の鮮度を保ちながら、幅の広い市民ニーズに応えていくために全国の多くの図書館で行われています。
223	P70	施設の管理運営には、「図書館運営については直営」とありますが、「維持管理は計画地が民有地であり、建設も民間事業者行うことから、今後の協議の中で検討」となっています。 図書館の建物も大事ですが、外部委託にはせず、そこで働く司書の重要性も把握して、司書配置、図書館内のカウンター配置を考えて、豊中市民と本をつなぐ図書館にして欲しい。	現在、市有施設は、清掃、警備、設備など各施設にある様々な施設の保守管理を業者が一括で行う、包括施設管理業務委託を導入しています。 （仮称）中央図書館は、民間事業者が建設する複合施設内に設置するため、その施設の維持管理について、包括施設管理業務委託を導入するか、民間事業者の導入する維持管理を選択するかについて、今後、協議していくこととしています。 （仮称）中央図書館の運営については、管理運営方式（P70）で示しています。ここでは、これまでの本市の強みを活かし、社会情勢の変化に対応することなどから、直営としています。 また、IV整備計画（P51～P67）では、職員が働きやすい環境も含めた整備を示しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
224	P70	蔵書更新の必要性は理解できるが、シリーズものなど、続きが読めなくなるのは困ります。続きのあるものは残して欲しい。	蔵書の更新は開架スペースに限りがあるため、引き続き必要な取組みです。古くて利用されなくなったものを書架から取り除くとともに、その中から引き続き市民ニーズの見込めるものは閉架書庫に入れることで、開架スペースの蔵書の鮮度を保ちながら、幅の広い市民ニーズに応えていくために多くの図書館で行われています。
225	P71	(仮称)中央図書館の計画地の所有者は、駅前一等地の活用方法を図書館利用用途以外と比較検討したのでしょうか。 図書館の計画地として決めるのはいいですが、正直駅前の活用としては図書館でなく、子育て世代向けに何か遊べる施設などに活用したほうがよいのではないのでしょうか。 図書館整備目的だけでなく、市としての環境整備としてはどうか、という視点も含めて検討してください。	(仮称)中央図書館の整備にあたっては、子育て世帯の方々から、子どもが安心して過ごすことができる空間の確保や、児童書や親子向けイベントの充実などのご意見をいただいております。 また、曾根駅周辺については、(仮称)中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、部局横断的に、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。
226	P71	中央館の計画地が曾根駅前になった経緯を知りたい。豊島公園のほうが断然いいんじゃないですか。 豊中といえば、文教都市として文化水準の高さが評価され、通勤族にも人気の街です。図書館の評判も高く、岡町図書館は中央館としての役割を十分果たしてきたと思います。 新しい中央館が複合施設の2階・3階に入居するのはふさわしくありません。図書館、文学館が各地で建設されていますが、建物の内容はもとより、周囲の環境も重要だと思います。 本を読んだり、借りたりして、その後は戸外で遊ぶ。そうした環境が良いのではないのでしょうか。子育て世代には公園の中に図書館があるほうが望ましいと思います。そのメリットを超えるものが、曾根駅前にできる(仮称)中央図書館にあるのでしょうか。	P71～72に示すとおり、(仮称)中央図書館の第一優先候補地の選定について記載しています。 民有地につきましては、事業者への活用調査を経たうえで、豊中市(仮称)中央図書館第一優先候補地選定委員会で、P72で示した評価項目に沿って、補地3か所の評価を実施し、令和5年度に、曾根駅周辺の民有地を第一優先候補地として選定しました。 また、(仮称)中央図書館の整備にあたっては、子育て世帯の方々から、子どもが安心して過ごすことができる空間の確保や、児童書や親子向けイベントの充実などのご意見をいただいております、そうしたニーズはしっかりと受止めています。
227	P72	(仮称)中央図書館整備計画についての素朴な疑問があります。 2～3階に図書館を入れて賃貸収入(区分所有ではないならばという前提ですが)を得るよりも、2階以上をすべて住居エリアとし、1階をスーパー他商業用フロアとするほうが工事期間も短く、かつ図書館仕様の耐過重を考える必要もないため工費も安くなり、全体の採算性は向上します。 将来、万が一図書館が退去するという事態があった場合の大口退去リスクを抱えるよりも、住居部分を増やし退去リスクを小口分散したほうが得策だと思います。なぜ事業者は図書館を入れようと思っているのでしょうか。 図書館の家賃は住居よりも高く設定されるからですか。それとも建設資金調達において、市の支援が得られるからですか。現在の民間計画を選択する理由が明確でないと、建設当初だけでなく開館後の継続性に疑問が生じます。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)VI(参考)(P71)に記載のとおり、令和4年度に民有地について、条件を提示し公募を行い、要件を満たしたことから、候補地の一つとなりました。 候補地選定のため令和5年度には、豊中市(仮称)中央図書館基本構想及び、豊中市立図書館みらいプランの実現を条件に含めた詳細な調査を行いました。 これらのことから、民間事業者が(仮称)中央図書館を誘致したことは、基本構想やみらいプランの実現に寄与するためと判断しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
228	P72	令和10年度・令和11年度の開館見込みの評価項目ですが、5～10階部分が住居フロアとして図書館フロアを3年かけて建設するならば、住居部分も3年後となります。通常のマンションならば3年もかけて建設しますか。長期工事となった場合、工費負担も当然、増加します。開館見込み・工事期間はどうか。事業者は建築期間中、賃料収入がないこととなりますが、この期間の営業維持が可能か検証されていますか。	(仮称)中央図書館の開館は令和11年度を予定しています。第一優先候補地の選定の際、民間事業者の財政状況や資金見通しなどを確認しています。
229	P72	公共事業の継続性については、事業者とのパートナーシップの妥当性、事業者の変事抵抗力を厳正に判断しなければなりません。整備計画においては、事業者の財務内容、企業実力、変事抵抗性、今後の経営承継者が確定しているかどうかなど、将来性をきっちり検証しましたか。多額の市税を投じる以上、市民にも財務内容を公表してください。他の地方公共団体ではこのようなプロジェクトにおいて、株式上場ゼネコン・不動産デベロッパーが経営主体となっているケースが大半ですが、経営主体が中小・中堅の場合には経営事項審査に準じた財務内容を公表しています。そもそも令和6年3月時点の計画を半年足らずで変更するというのはいかなる理由でしょうか。さらに豊中市としてその変更理由を妥当として受け入れた理由をあわせて開示してください。	(仮称)中央図書館の第一優先候補地の選定の際、民間事業者の財政状況や資金見通しなどを確認しています。民間事業者の財務状況等は、一般に公表されているものも含め、その内容を本市が公表するものではありません。事業内容の変更は、民間事業者の経営判断と考えますが、この事業内容の変更により(仮称)中央図書館の整備内容や費用などに影響はありません。
230	P72	市民ニーズを把握して服部図書館以外の分館が残ることになったのはうれしいが、(仮称)中央図書館の設置場所が二転三転していたりで場所的に曽根駅前には本当に市民にとって最適であるか疑問に感じざるを得ません。	(仮称)中央図書館の第一優先候補地の選定につきましては、事業者への活用調査を経たうえで、豊中市(仮称)中央図書館第一優先候補地選定委員会で、P72でしした評価項目に沿って、市有地を含む候補地3か所の評価を実施し、令和5年度に、曽根駅前周辺の民有地を第一優先候補地として選定しました。令和6年度に、事業者と施設概要や機能配置、価格について協議を重ね、(仮称)中央図書館の計画地を選定しました。
231	P72	そもそも、図書館と商業施設や住宅が同じ建物にあるのはおかしいです。豊中市はそこまでして、デベロッパーや建設会社に儲けさせたいのですか。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
232	P72	事業者は要緊急安全確認大規模建築物として公表されてからも、やむを得ない諸事情があったかもしれないが、結果として耐震対策をとらず長年営業を継続してきました。こうした営業姿勢を取ってきた事情を説明して欲しい。 仮にやむを得ない事情を抱えているならば事業パートナーとして今後、公共事業を継続して行けるのか疑問があります。パートナーとして妥当、問題なしと判断された豊中市の判断根拠を開示してください。 また、事業者の資金調達方法について知りたい。一切借入をせず自己資金で調達するならばまだしも、仮に借入金によるとした場合、当然担保設定がついて回る。将来の弁済能力確認していますか。万が一でも担保権行使の懸念はないのでしょうか。 新築マンションは将来、建替・修繕を避けて通れないし、商業施設フロアはもっと短いサイクルでリニューアルする必要性が生じます。南海トラフ地震が発生し、大規模な修繕を余儀なくされた場合はなおのことです。賃貸住宅ならば住民の退去リスクがありますし、分譲でもいつまでも建替・修繕方針が決まらないというケースもあり得ます。 これらのリスクも考慮されていますか。そもそもこの建物を一体、築何年まで使用する計画となっているのですか。年数で回答してください。	(仮称)中央図書館基本構想・豊中市立図書館みらいプランの趣旨を踏まえ、その実現に寄与する応募内容であると判断しました。 (仮称)中央図書館の第一優先候補地の選定の際、民間事業者の財政状況や資金見通しなどを確認しています。 (仮称)中央図書館の施設の保有方法を検討する際に、リスクについても検討し、本市にとってメリットが高い保有方法を選択しています。 なお、入居想定期間は50年以上としています。
233	P72	第1候補の曾根駅前の場合、1階にスーパーマーケットが入り、図書館は2, 3階。4階から上はマンションと聞いています。 中央図書館としての独立性や独自性に欠ける箱のような建物になると思うと、なんだか寂しいというか情けない感じがします。独立した図書館とする可能性はないのでしょうか。	P71～72に示すとおり、(仮称)中央図書館の第一優先候補地の選定について記載しています。 民有地につきましては、事業者への活用調査を経たうえで、豊中市(仮称)中央図書館第一優先候補地選定委員会で、P72で示した評価項目に沿って、市有地を含む候補地3か所の評価を実施し、令和5年度に、曾根駅前周辺の民有地を第一優先候補地として選定しました。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
234	P72	これまで岡町図書館が中心になってきました。その機能に代わる中央図書館を曾根に移すことに対する説得力のある理由がわかりません。これだけ出費をして現在の図書館を廃止するのは問題です。	岡町図書館の老朽化に伴う対策として、将来にわたり持続可能な図書館サービスを提供できるよう、（仮称）中央図書館を核とした新たな図書館サービス網の構築に向けた豊中市（仮称）中央図書館基本構想を策定しました。基本構想において、（仮称）中央図書館の想定エリアとして、阪急電鉄宝塚本線の豊中駅、岡町駅、曾根駅の市の中心部に近いエリアを設定しました。その他、想定規模として5,000㎡程度、想定開館時期として令和10年度・11年度を条件としました。この条件に基づく市有地として豊島公園を選定するとともに、民有地は2件の応募があり3か所を（仮称）中央図書館の候補地に選定しました。その内容については、P71～72に示すとおり、（仮称）中央図書館の第一優先候補地の選定について記載しています。民有地については、事業者への活用調査を経たうえで、豊中市（仮称）中央図書館第一優先候補地選定委員会で、P72で示した評価項目に沿って、市有地を含む候補地3か所の評価を実施し、令和5年度に、曾根駅前周辺の民有地を第一優先候補地として選定しました。令和6年度に民間事業者と協議を行い、内容がまとまりましたので計画地として選定しています。
235	P72	2月1日にくらしかんで行われた中央図書館に関する連続講座において「結局4階建てになったのか10階建てになったのか」との質問を受け、読書振興課からは「そういう計画もあるが未定」との回答がありました。あらためて読書振興課にお聞きしたところでは当初4階建てから5階～10階を追加して住居エリアを設けると聞きました。保有形態は未定とのことでしたが、計画が変更となったのであれば、少なくとも第一優先候補地については評価が変わるはずで、再度、3候補地を比較し直した評価内容を全項目について個別に数字を明記して開示してください。	事業内容の変更は、民間事業者の経営判断と考えますが、この事業内容の変更により（仮称）中央図書館の整備内容や費用などに影響はありません。
236	P72	P72の4「財政負担」の項について、第一優先候補地を検定した際の3候補地の検討において査定された財政負担額と計画変更後の財政負担は大きくなりますか。 みらいプラン（P22）には「市の公共施設マネジメントの推進と将来の財政状況を考慮し、図書館施設の老朽化対策と費用負担の軽減に取り組む」と謳われています。そのため令和5年3月のみらいプランでは商業施設に賃借で入居することに軸足を置いた説明をされていたと思いますが、保有形態も変更になるとすれば財政負担も相当に変わるものと思います。きっちりと数字を示して開示してください。 また、みらいプラン（P22）では、「すべての図書館を同規模で更新及び改修した際にかかる費用として令和3年度から令和12年度までの10年間で約41億円が必要となる見込み」とありますが、この計画で当初10年でその他費用も含めて41億円を下回ることが可能なのですか。その後20年、30年となれば当然、当該建物もリニューアルの必要が発生します。30年を超えると住居部分の退去リスク出てきます。その点をどのように織り込んでいくのか知りたい。	事業内容の変更は、民間事業者の経営判断と考えますが、この事業内容の変更により（仮称）中央図書館の整備内容や費用などに影響はありません。 また、豊中市立図書館みらいプランにおいて、（仮称）中央図書館の保有方法について明記しておりません。 また、みらいプラン（P22）では、更新・改修としての見込み額を示しており、10年後に新しい図書館を設けると仮定すると、新図書館の整備費に加え老朽化した施設の更新・改修費が追加されることとなります。さらに（仮称）中央図書館の施設の保有方法を検討する際に、そのリスクについても検討し、本市にとってメリットが高い保有方法を選択しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
237	P72	岡町図書館の跡地活用方針を開示してください。売却し中央図書館建設費とするのか、資産として保有し続けるのかによって財政負担は大きく異なります。保有の場合、岡町図書館廃止により図書館の総面積は減ったとしても、市の公共施設全体の面積が減るわけではありません。 みらいプランの根拠である公共施設等総合管理計画は、各公共施設の面積圧縮をうたっています。しかし、単に面積を減らせばいいというわけではなく、将来コストを減らすことが目的です。 岡町図書館の廃止後の扱いが未定のまま、（仮称）中央図書館の建設投資だけ先行するのは、民間での設備投資計画ではあり得ない話であり、公共施設等総合管理計画の本来の方針と矛盾すると言わざるを得ません。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところです。 なお、同プランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しています。 岡町図書館廃止後の施設活用にあたっては、今後、市で検討していきます。
238	P72	想定資料数が約55万冊から40万冊に減ったことは大問題だが、説明に納得できません。私は（仮称）中央図書館の建設に期待をしている一人です。文教都市豊中の中央館としてふさわしい建築ができないのであれば、政策転換して候補地だった市有地に図書館を建設すべきです。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想では、蔵書数を開架30万冊・閉架25万冊、計55万冊としていました。（仮称）中央図書館整備計画（素案）の策定過程で実施した、市民ニーズ調査では、子どもが安心してゆっくり過ごせる場所などゆとりのある空間が多く求められました。また、利用者スペースを拡充し、利用者数の増加促進を図るため、児童書数を10万5千冊から5万8千500冊、閉架を25万冊から15万冊とし、全体として40万冊としました。（仮称）中央図書館の規模約5,000㎡を最大限に活かし、誰もが利用しやすい図書館づくり検討した内容としています。
239	全体	（仮称）中央図書館について、市民の多様な意見を集約してきたことは大事な、そして大変な作業だったと思います。市民の声を聞き、活かそうと努力されてきたことに敬服します。 ◎特に、地域の歴史的な資料の保存、レファレンスサービスの向上、市民協働事業等の推進などは図書館の重要な役割として今後とも推進してください。 ◎歩いて行ける身近な図書館への市民ニーズが何としても大きく、地域の図書館存続への根拠となったことを忘れないでください。 ◎誰もが使いやすい、赤ちゃんから高齢者、障害者まで利用できることは大事な視点。しかし、子育て世代の集まる場所や児童館もない中で、子育て世代、中高校生、大学生、などそれぞれの要求をすべて図書館で担うには無理がありませんか。そこから、図書館本来の役割を越えていろいろ計画しなければならないことに矛盾を感じます。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます
240	その他	パブリックコメントの結果についての公表のタイミングはいつぐらいになりますか。議会が終了してからでは意味がありません。 3月定例会で議論できるようなタイミングで公表していただきたい。	豊中市意見公募手続に関する条例に基づき、提出期間内に頂いたご意見を考慮したのち、（仮称）中央図書館整備計画の公布後、提出意見及びその概要や、提出意見を考慮した結果などについて速やかに公表いたします。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
241	その他	(仮称)中央図書館整備にあたり、服部図書館を廃止しないで欲しい。廃止となった場合でも、サービスポイントを設置して欲しい。	令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は(仮称)中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を(仮称)中央図書館の計画地として選定しました。 このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、(仮称)中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。 また、みらいプランでは、サービスポイントの設置方針として、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。
242	その他	(仮称)中央図書館の計画地が曽根駅前の民有地に決まりました。市は土地の所有者と建物の概要や機能、価格などについて協議しているが、既存建物の解体や、新設の建物の規模、テナントや住宅エリア、駐車場の有無などの記載はありません。また保有方法も借地なのか購入なのか不明です。しかし、整備計画では、2・3階に設置する図書館機能について詳細に記しています。 市はホームページで「本事業の実施に係る予算及び契約については、市議会の議決が必要」と記載しながら、具体的な説明はありません。 まずは市民に問うべきではないですか。人と情報、人と人をつなぎ、まちの魅力を高める図書館は「知の拠点」です。子どもから高齢者まで、誰もが利用できる図書館であって欲しい。未来に向けた図書館づくりを求めます。	(仮称)中央図書館整備計画(素案)は、Ⅱ市民・団体等ニーズ(P4～P44)に記載のとおり、ワークショップや様々な方へアンケートを実施するなど、市民の皆さまの様々なご意見を参考に、(仮称)中央図書館の整備方針や管理運営方針を示すものです。(仮称)中央図書館は、民間事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。価格や施設の保有方法については、3月定例会で提案し、議論を進めます。なお、駐車場の設置については、P65に記載しています。 今後も、誰もが行きたくなる図書館となるよう市民や事業者とともに一緒に創りあげていきます。
243	その他	中央図書館の計画地、曽根駅前の民有地は教育と文化都市、豊中の中央図書館として市のシンボルといえるでしょうか。高層ビルの一部2階、3階フロアが図書館ではお粗末に感じます。独立した建物の図書館を望みます。そこで、歴史的にも誇りある岡町図書館の建替えか改修等を行い、岡町での現地建替えを切に願います。	(仮称)中央図書館の計画地は、市が行った民間用地活用の可能性調査に応募のあった候補地と市有地の3か所から選定しました。選定の過程で事業者と協議を重ね、まちづくりの観点からも評価し、施設概要や機能配置、価格について協議がまとまったため計画地として選定しています。
244	その他	2、素案「3、サービス方針」の「3.図書館ネットワーク・」の中の一行目「図書館ネットワークの中核として、地域館や分館・学校図書館・」の文章の「分館」の後ろに「(千里・庄内)」を加えると同時に「(野畑)」も加える。	(仮称)中央図書館の計画地を曽根駅前に選定したため、豊中市立図書館みらいプランで示すとおり、新たな施設配置は、地域館は庄内・千里図書館、分館は野畑・東豊中・高川・螢池図書館となり、同プランを踏まえて取組みを進めます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
245	その他	司書が市民の対応や相談に応じられる環境を期待します。ハード面（施設）、ソフト面（司書）の充実をお願いします。	（仮称）中央図書館整備計画では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。P48のとおり、レファレンスサービスの提供や、P51では、その提供に必要な場の整備、書架の設置と情報端末の配置の整備方針を示しています。
246	その他	職員、司書などの人員を減らさないで、対面で相談できる機会を利用しやすくして欲しい。市民ボランティアなどの活用も考慮して欲しい。	（仮称）中央図書案整備計画（素案）では、5つのサービス方針を掲げ（P47）、それぞれの方針に基づくサービス計画を示しています。充実したレファレンスや市民との協働についてはP48に、整備計画についてはP51に示しています。 人員については、図書館サービスが効率的・効果的に実施できる職員配置を検討していきます。
247	その他	中央館ができれば、服部図書館と岡町図書館がなくなる計画だということを知らない市民がまだまだたくさんいます。服部、岡町を利用している人で、曾根になったらもう気軽には図書館を利用できない人はたくさんいます。中央館のことだけでなく、市立図書館全体のことをきちんと市民に知らせて意見を聞いてもらいたい。そして、市民とともに市立図書館のあり方を再検討してもらいたいです。	（仮称）中央図書館は、Ⅱ市民・団体等ニーズ（P4～P44）に記載のとおり、豊中市（仮称）中央図書館基本構想の策定過程の段階から、図書館関係団体との勉強会やヒアリング、市民アンケートや説明会、パブリックコメント、さらには出前講座や市民主催のタウンミーティングへの出席などを通して、多くの方々からご意見をいただき、議論や意見交換も行いました。引き続き、基本構想、豊中市立図書館みらいプラン、（仮称）中央図書館整備計画の周知に努め、取組みを進めます。
248	その他	敷地形状、接道、周辺の環境が分からないと計画地での（仮称）中央図書館のイメージができません。10階建てか4階建てかわからないと躯体費が不明です。また、駅とつながるとしたら陸橋ですか。	（仮称）中央図書館は、事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。 また、阪急電鉄宝塚本線曾根駅と複合施設が陸橋でつながるような計画は聞いておりません。
249	その他	民間商業施設との併設に関して、不明すぎます。もっと具体的に提示してください。併設される事業者との建設費の分担割合はどれくらいですか。	（仮称）中央図書館は、民間事業者が建設する10階建ての複合施設の2階・3階部分に設置する予定です。1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。 現在、事業者から図書館部分の概算見積書をいただいているところです。今後、基本協定書締結後に、設計される予定であることから、適切な時期に事業計画を公表いただけるよう事業者働きかけます。
250	その他	図書館は誰もが気軽に行ける場所ですが、子育てコーナーを併設するのではなく、子育てコーナーは図書館以外の場所に設置してください。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想、豊中市立図書館みらいプランの策定過程におけるアンケートやワークショップ、パブリックコメントなどにおいて、多くのご意見をいただきました（P4～P44）。（仮称）中央図書館の整備にあたっては、子育て世帯の方々から、子どもが安心して過ごすことができる空間の確保や、児童書や親子向けイベントの充実などのご意見をいただいております。こうしたニーズはしっかりと受止め、誰もが行きたくなる図書館を市民や事業者とともに創っていきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
251	その他	(仮称) 中央図書館整備計画は中央館について書かれているばかりです。今の服部図書館で借りたい本の取り次ぎをしてください。 高齢者は杖をついて、カートを押して、歩いて行ける図書館へゆっくりと歩いていきます。元気な人は服部図書館でも中央館でも変わらないように思うでしょうが、高齢者は服部図書館ならなんとか行けますが、中央館は無理と言っている人が相当数います。	(仮称) 中央図書館整備計画(素案)は、Ⅱ市民・団体等ニーズ(P4~P44)にあるよう、ワークショップや様々な方へアンケートを実施するなど、市民の皆さまの様々なご意見を参考に、整備方針や管理運営方針を示すものです。 令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は(仮称)中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を(仮称)中央図書館の計画地として選定しました。このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、(仮称)中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。 図書館ネットワークの方向性については、(仮称)中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところであります。同プランに沿って、取組みを進めます。
252	その他	1. (仮称) 中央図書館開設後に岡町図書館・服部図書館は廃館が決まっています。東豊中・高川・野畑の各図書館は500㎡規模に縮小し、分館とするという考え方は整備計画に記載がありません。変わりありませんか。 2. また、経営戦略課から令和6年9月に出されている2025経営戦略方針(P12)では公共施設等総合管理計画については見直しの方針となっています。施設総量フレームの目標値が改定となった場合、みらいプランの廃館及び面積縮小の計画は変わるのでしょうか。 3. さらに、令和6年10月に出されている公共施設等総合管理計画個別編では、服部・東豊中・高川の各図書館がある複合施設の建物自体は長期保有方針となっていますが、仮にみらいプランの方針に変更がないとすると図書館廃館あるいは面積縮小後、跡地や空いたスペースの活用はどうなりますか。(仮称)中央図書館とこのような分館との連携とは具体的に何をしますのか。	(仮称) 中央図書館整備計画は、Ⅱ市民・団体等ニーズ(P4~P44)にあるように、ワークショップや様々な方へアンケートを実施するなど、市民の様々なご意見を参考に、整備方針や管理運営方針を示すものです。(仮称)中央図書館の整備とともに進める施設配置の予定スケジュールは、豊中市立図書館みらいプラン(P43)で示しています。 図書館については、社会変化に伴う将来ニーズへの対応と公共施設マネジメントの推進のもと、豊中市(仮称)中央図書館基本構想を策定し、将来ニーズを見据えた新たなサービス提供と、図書館ネットワークの構築を示しました。同構想の基本方針等の関連内容を具現化し、新たな図書館サービス網を示したものが、豊中市立図書館みらいプランです。 みらいプランは、将来の人口減少や財源対策を想定した図書館の持続可能なサービス提供を図るプランであり、現時点では見直しの予定はありません。 豊中市立図書館みらいプランで示した施設配置の予定スケジュールに沿って取組みを進め、跡地活用についても、順次、検討を進めます。 (仮称) 中央図書館は、図書館ネットワークの中核として利用状況や地域のニーズの収集、現状分析、先進事例の調査研究などについて、地域館や分館、学校図書館と連携し、市立図書館サービスへ反映します。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
253	その他	基本構想に基づく中央館の考え方は、徒歩や公共交通機関による利用を想定しているようですが、歩行困難な高齢者や障害者、また貧困層の存在を置き去りにしているのではないのでしょうか。さらに市民の分断や地域間の格差拡大を促進しているように感じます。 市の中央部だけに投資し、サービス拡充させるような市の考え方に違和感を通り越して、不信感を感じています。 公立こども園、小中学校統廃合でも同様の進め方をしていますが、疑問に思っています。市全体のまちづくり構想として、初めに市域全体に対して説明をしてから進めていくべきです。特定の地域の市民をごまかし、進めてはいけません。基本構想から議論し直すべきです。もっと誠実に対応してください。	Ⅱ市民・団体等のニーズ（P4～P44）で検討の経緯を示すように、市全体の図書館のあり方についてまず議論を進めてきました。令和2年度の豊中市（仮称）中央図書館基本構想の策定にあたっては市民アンケートや来館者アンケート、基本構想のパブリックコメントなどを実施し、市域全体の市民意見を聞き取るよう努めてきました。その結果は整備計画にも掲載しています。令和4年度に策定した豊中市立図書館みらいプランを策定時にも、同様に市民のご意見を広く集めています。整備計画の策定にあたっては、市民ワークショップや市民アンケート、パブリックコメントなどを実施し、多数の市民参画のもと、計画策定を進めているところです。 今後は、P47～48で示すとおり、サービス計画①に掲げた、資料や情報を積極的に発信していきます。
254	その他	市立図書館の基本コンセプトにある「すべての人の「わたしの図書館」であることをめざす」という言葉について私の意見を述べます。 この言葉は、すべての市民が図書館を利用できる環境を作ることが本来ではないのでしょうか。 日本図書館協会「公立図書館の任務と目標」にも、「住民はだれでも、どこに住んでいても、図書館サービスを受ける権利をもっている。自治体は、その区域のすみずみまで図書館サービスが均質に行きわたるように努めなければならない。」とあります。 では市立図書館はどうでしょうか。（仮称）中央図書館を中心としたサービス網の構築という考え方は、大きな中央館、オンライン利用やサービスポイントを設置し、分館の廃止などを行うことです。 それは市内のどこに住んでいるかや、インターネットを利用できるかどうか、また移動手段を持っているかどうか、そうした条件で、図書館利用に大きな格差を生むことになると考えます。 すべての市民の「私の図書館」と言うなら、これまで市が運営してきた図書館を生かすこと。さらに、不足している地域に図書館の新設を検討するのが妥当です。 「はじめに」で、将来世代に負担をかけない新たな施設の配置が必要となりますと記されています。これまで指定管理者制度や委託などを導入せず、市民が作り上げてきた図書館ネットワークを将来世代へ引き継ぐべきです。それを価値ある豊中市の図書館文化として、さらに深めていこうと、考えてください。 大きな立派な中央館は必要ありません。建設コストがかからず、維持費を抑えることができる施設にし、本来必要なスペースに限定した中央館でよいのではないのでしょうか。 豪華一点主義とも思える図書館がありますが、それこそ将来への負の遺産となります。	P1「はじめに」で示すように、まちづくりに必要な財源が増える見通しのある中、現在の図書館ネットワークの維持に必要な負担を軽減し、将来世代に負担をかけない新しい図書館ネットワークの構築に取り組んでいます。 P48に示すとおり、サービス計画④に掲げた、利用者層を広げ、多世代に親しまれる図書館をめざし、より多くの市民から理解を得、親しまれる中央館の整備を進めます。
255	その他	全体的な図書館サービスの充実のためにも分館も含めて充実させてください。	P49で示すとおり、サービス計画③に沿って、中央館が図書館全体を統括し、資料の配送や地域館や分館の運営を支援します。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
256	その他	テレビ番組で豊中いいところ！「読み聞かせ」というのがありました。読み聞かせできるのはボランティアと場をとる図書館あってこそです。市民が豊中いいところ「図書館！」とすぐ言える図書館になるよう願っています。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
257	その他	次のようなサービスを提案します。 ①行きたくなる図書館は、あたりまえ。行きやすいかどうかが問題。コミュニティバスなど手を考えているかどうか。 ②にぎわいあふれる図書館。近くの人達がほとんどになる様な気がします。 ③ネットワークサービス。紙の本を読みたい。サービスポイント近くに欲しい、増やして欲しい。 ④利用しやすいけっきょく距離。 ⑤魅力を高める。図書館とまちのつながりは微妙。地方では、まちとは離れた広大な駐車場とセットになっている所といったイメージ有り。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
258	その他	読書振興課としては4階建てが10階建てに変更になっただけで、2階・3階に入居することによって変わらないので大した差異はないと考えているようですが、将来に起こり得るリスクはまったく違います。 ◎住居部分が分譲の場合、修繕積立金不足が生じているケースは多数あります。震災による大修理や何十年か先に修繕を余儀なくされた場合、市単独で解決できるような問題ではありません。 区分所有した場合は単純に退去という訳にも行かず、市が修繕積立・修繕費用不足分をカバーせざるを得ないということも十分にあり得ます。 ◎住居部分の住民の生活環境を考慮して開館・閉館時間を図書館だけで決められないことも起こり得ます。その他各種の活動において住民から異義が出れば制限を受ける可能性はあります。店舗だけの場合と異なり、事業者の権限で居住者をコントロールすることは到底、不可能です。 ◎何よりも豊中市のランドマークとなるような図書館を作ろうとしてしているのに、スーパーと図書館が付属設備としてあるマンションとしかみられません。他にもきちんと検証すべきことは多々あると思います。 計画を白紙にし、豊中市みらいプランを多数の市民も参画してして策定からやり直してください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
259	その他	幼稚園・保育園に通う子どもたちを引率して図書館を利用する体験は、幼いころから図書館や図書に興味をもつうえで良いきっかけになります。図書館から離れた施設には司書が出向いて読み聞かせをしてはどうですか。	子ども園等のお散歩来館や出前おはなし会など、子ども読書活動の推進に係る取り組みは、引き続き市立図書館全体で取り組みます。中央館はそれを統括し、支援する役割を担います。

No	該当か所	意見内容	市の考え方
260	その他	2月1日の市民主催の連続講座にて配布された資料で石川県立図書館の「おちつきへのや」をモデルとして紹介しています。テレビ番組ではまったくとりあげられていませんでしたが、番組で強調していた図書館の避難所としての役割を具現化したものと理解しました。（仮称）中央図書館でもあったらいいなと思う設備です。 テレビ番組では図書館の本質的な役割だけでなく、来館者それぞれで異なる利用目的を描き、いろいろな意味での避難所ともなっていることを採り上げており、石川県立図書館はすばらしい図書館なので配布資料に掲載されたものと思います。 ただ残念なことに、民間の複合施設に入居する（仮称）中央図書館整備計画では、石川県立図書館のような図書館にはならないでしょう。教育委員会だけでなく、まちづくりに関わる市の担当課と市民で最初から場所、建物外観、デザイン性も含めてワークショップをやり直しませんか。テレビ番組や全国の好事例の資料をみんなで集めて検討し直しましょう。	これまで、豊中市（仮称）中央図書館基本構想、豊中市立図書館みらいプランの策定過程におけるアンケートやワークショップ、パブリックコメントなどにおいて、多くのご意見をいただきました（P4～P44）。また、これまで他県や他市の図書館で、館内のレイアウト、バックヤード、物流の動線、外観なども含めて、現地視察も行いました。 （仮称）中央図書館の計画地の曽根駅周辺については、（仮称）中央図書館を核に文化・スポーツ施設が集積する地域特性を活かし、多世代が集い、賑わうエリアとして、部局横断的に、ハード・ソフト両面から一体的なまちづくりを進めていく予定です。 なお、来年度以降、整備計画を踏まえ、施設の具体化を図ることにしています。その中で市民から意見を聞き取る機会を設けながら、整備に取り組みます。
261	その他	意見提出用紙の記入欄がわかりにくい。	今後はご意見を参考に、記入例を見直すなど検討します。
262	その他	長年、図書館に関わる市民活動をしてきた立場から素案への意見ですが、図書館を大事に思うからこそその意見と捉えてください。市民とともに歩んできた豊中市立図書館の真の未来を見据えた発展を心から希望しています。図書館の職員の皆様ががんばってください。 そして（仮称）中央図書館が市民の生涯学習の場として、市民の宝として、すべての人のわたしの図書館として完成することを心から願い期待しています。がんばってください。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
263	その他	(仮称) 中央図書館にできると嬉しい施設やサービスについて、保護者の意見をまとめました。 ◎室内あそび場 豊中市は公園は充実していますが、雨の日に困ることがあります。静の図書館に合わせて、動のあそび場があるといいなと考えました。自治体主導だと、亀岡市のかめまるランドがすごく良く、このような施設が近くにあると地域の魅力が上がるなと感じました。 他にも、茨木市にある文化・子育て複合施設おにクルもいいなと思いました。 ◎普通のスーパーマーケットとカフェとか入っているような、小さめでもいいのでイオンモールの的なものを作って欲しいです！ ◎図書館には学生が利用しやすい学習室と、地域のご年配の方がゆっくり本を読めるひとり椅子席（庄内図書館のような）があったらいいと思います。 ◎コワーキングスペースと病児保育です。市内の病児保育があまり機能していない印象を覚えており、その拡充を希望します。また、登園できない際に、リモート打合わせだけでも参加したい時があり、一定時間の保育とコワーキングスペースがあると助かります。	ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
264	その他	(仮称) 中央図書館の計画地の選定について、選定理由を知りたい。民間事業計画の変更により、図書館スペースが縮小し、蔵書数も削減された。建物の高層化を受けて、(仮称) 中央図書館の存在が地味で目立たなくならないか。民間事業者の思惑に流されないで欲しい。	P72の評価項目に沿って、アクセス性・利便性・周辺地域への影響等が高評価でした。図書館スペースにおいては、豊中市(仮称) 中央図書館基本構想から規模を5,000㎡程度としており、変更していません。蔵書数は、市民ニーズに合わせ変更したものです。今後とも、民間事業者と協議のうえ、中央館機能を十分発揮できるよう取り組んでいきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
265	その他	令和5年度に第一優先候補地として曾根駅前の民有地を選定していました。それに基づいて令和6年1月のワークショップにおいては4階建てで、1階は商業施設、2・3階に中央図書館という説明がなされ、それに基づいたワークショップでした。 しかし令和6年12月議会では市の答弁として「第一優先候補地については、当初の4階建てから集合住宅を10階まで建て増しする計画となった。この変更に伴う図書館の整備における協議は終了し、現在費用面で確認、協議をしている段階。最終費用面の協議がまとまったら、市議会に整備の概算費用を提案し承認されたら、来年度初めに基本協定を締結するつもり」という発言がありました。2月17日の市議会への予算内示では基本計画を進める予算1,400万円が組み込まれています。 2月1日の整備計画素案の説明の折りには10階建てになったと12月議会答弁の内容に関する質問が出て、それに対しては「未確定」とであるという答えでした。10階建てが4階から上部すべての規模なのか、マンション部分だけ突出する10階建てなのかで印象は異なりますが、4階建ての半分が中央館なのと10階建てで巨大マンションの1/5が中央館なのとは、その印象はまったく異なり、（仮称）中央図書館は実に目立たないマンションの一角となるでしょう。 そういうことを説明しないで、事業者と協議中で未定ですと済ませてはいけないと思います。今後は事業者とともに進める訳だから、こういう問題は次々出てくると予想されます。その度に事業者主体の事業だから今は答えられない、事業が進んでしまえばできてしまったものは変えられないということで行くのですか。 事業者主体の今後の中央図書館建設での情報の素早く正確な伝達をどうしますか、その方針を出してください。そして10階建てに変わったその全容を整備計画を確定する前に市民にいつ説明するのですか。	曾根駅前の民間施設については、10階建ての複合施設で、2階・3階が図書館、1階・4階が商業施設、5階～10階を住居と予定されています。民間事業者と基本協定を締結していない段階での情報提供は慎重を期すため、随時確認をしながら、適切な時期に情報を発信していきます。
266	その他	豊中市立図書館みらいプランでは岡町図書館での建て替も選択肢の一つとあり、令和3年に実施したサウンディング型市場調査では岡町図書館での建替えもきちんと調査すべきとの意見が出ていましたが、調査はしましたか。候補地から除外した理由を開示してください。	豊中市立図書館みらいプランで示しているとおり、岡町図書館は中央館の面積要件は満たしていませんが、他の敷地での実現可能性が困難になった場合の最終候補地としています。
267	その他	服部図書館の廃止後に、図書サービスポイントを設置してください。 服部図書館を頻繁利用させていただいており、読書に親しんでいます。デジタル図書館の充実も嬉しいのですが、紙の書籍を楽しむチャンスをぜひ残してください。 高齢になってくると少し遠方でも（曾根駅、緑地公園）出かけにくくなってきましたので、よろしくお願いいたします。	豊中市立図書館みらいプランでは、図書サービスポイントの設置方針として、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。 服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
268	その他	整備計画には豊中市教育委員会の表記と教育長のメッセージしか掲載されていませんが、多額の市税を投入するビッグプロジェクトであり、予算権限は市長にしかありません。 また愛知県安城市立図書館、三重県の桑名市立図書館、亀山市立図書館、宮崎県都城市立図書館等は町の中心市街地空洞化対策を意識して中央図書館を中核施設に据えており、茨木市のおにクルでは計画策定にあたり市長が市民と積極的に対話を重ねたと聞きました。市長部局のお考えも表明してください。	本市の図書館行政の推進は、教育委員会の業務です。（仮称）中央図書館の整備を含め、引き続き、市長部局と連携し教育委員会が取り組みを進めます。
269	その他	施設の管理運営について、（記載内容が十分かは別として）運営方式や開館時間等の記載はあるものの、中央図書館の建設から開館に至るような時期やスケジュールの記載がまったくありません。令和5年3月に策定された「豊中市立図書館みらいプラン」では大まかなスケジュールが記載されていたことから、同程度のスケジュールの記載が必要なのではないですか。	令和7年度から基本設計に入り、実施設計、建設工事と進む予定です。（仮称）中央図書館の開館は令和11年度を予定しています。 事業者との基本協定締結前であるため、公表できる内容が限定されることもあります。引き続き、適切な時期に、公表できるよう事業者に働きかけます。
270	その他	岡町図書館廃止後にできたら嬉しい施設やサービスについて、保護者の意見をまとめました。 室内あそびできる施設（トランポリンなど）や小児科、アレルギー科など子どもがかかりつけにできそうなクリニックが欲しいです。	岡町図書館廃止後の施設活用にあたっては、今後、市で検討していきます。
271	その他	展示コーナーは借りられると空きができます。こまめに補充できるよう職員の人数を増やしてください。	人員については、図書館サービスが効率的・効果的に実施できる職員配置を検討していきます。
272	その他	司書の人数、正規職員の人数を減らさないでください。 私は子ども文庫の活動をするまで司書は図書の受付をしたり本の整理をしたり、直接私たち市民に関わることのない役割だと思っていました。 文庫活動の中で少しずつ司書の専門性を理解し、今では頼りにしています。そんな専門性を一般市民にも伝えて欲しい。専門性を発揮し、図書館がなくてはならない存在になるように、司書自ら工夫して活動してください。	人員については、図書館サービスが効率的・効果的に実施できる職員配置を検討していきます。 また、豊中市（仮称）中央図書館基本構想に掲げた、司書の専門性を高めるとともに、市職員として、市の関係部局とも連携しながら、様々な行政課題・地域課題を理解し、「人と人、人と情報、人と地域」をつなぐ図書館のもつ機能を生かした「まちづくりのファシリテーター」となるためキャリア形成プランの作成を進め、人材育成に取り組みます。
273	その他	サービス計画を支えるうえで職員体制は重要です。専門職として司書のポテンシャルを最大限発揮できるような体制整備してください。 また、読書や本を愛する人たちが集まり、交流したり選書をするような取り組みについても期待します。 このような取り組みを通じ、読書の魅力や本を読むことの楽しさが伝わり広がるように、様々な機関・団体・市民と図書館スタッフ・司書とが協働できる機会を設けてください。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
274	その他	これまで豊中の図書館では比較的蔵書の更新は積極的に進めてきたように感じます。それができなくなっているのは職員を削減した結果ではないですか。蔵書の更新に必要なのは有能な司書です。現在の職員体制では、実現できないと考えます。どれだけ職員の数を増やす予定なのか、それもあわせて検討すべき問題だと考えます。	人員については、図書館サービスが効率的・効果的に実施できる職員配置を検討していきます。 また、豊中市（仮称）中央図書館基本構想に掲げた、司書の専門性を高めるとともに、市職員として、市の関係部局とも連携しながら、様々な行政課題・地域課題を理解し、「人と人、人と情報、人と地域」をつなぐ図書館のもつ機能を生かした「まちづくりのファシリテーター」となるためキャリア形成プランの作成を進め、人材育成に取り組みます。
275	その他	サービスを支えるのは人、図書館員である。利用者のために図書館員が希望をもって働ける中央館であって欲しい。	豊中市（仮称）中央図書館基本構想に掲げた、司書の専門性を高めるとともに、市職員として、市の関係部局とも連携しながら、様々な行政課題・地域課題を理解し、「人と人、人と情報、人と地域」をつなぐ図書館のもつ機能を生かした「まちづくりのファシリテーター」となるためキャリア形成プランの作成を進め、人材育成に取り組みます。
276	その他	レファレンスサービスの充実などのため、専門性の高い職員の配置を引き続き要望します。	
277	その他	図書館運営を直営にしたことは嬉しいです。市が責任を持つということですから。その際、人的な面も大事にして欲しい。図書館職員は必ず正規の職員としてください。	
278	その他	ワークショップでも提案してきましたが、図書館司書についてサービスの質が均一になるよう、人材育成に取り組んでください。	
279	その他	中央館は市民はもとより、地域館や分館、学校図書館を支援することになります。支援機能をはたすために、支援される側に寄り添える司書を配置してください。	
280	その他	（仮称）中央図書館整備計画には、中央図書館の事だけが書かれており、分館や地域館が具体的にどう整備されていくのかについては触れられていません。市民にとって、身近で、気軽に利用できる分館や地域館があることは、これまでも市民ニーズにかなってきました。服部図書館と岡町図書館の廃止については、ぜひ見直してください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところです。 （仮称）中央図書館開設に伴い岡町図書館・服部図書館を廃止することは、同プランに沿って進めます。岡町図書館廃止後の施設活用にあたっては、今後、市で検討していきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
281	その他	私の利用する岡町、野畑、千里のどの図書館も職員の懇切丁寧で的確な説明や仕事ぶりに、さすが「文教都市豊中」の名に恥じないといつも感心しております。 ただ、野畑を除き他の二館はすこし手狭と感じておりました。数年前に新しい中央図書館構想と分館等の整備刷新の計画があるとお聞きし、そうした狭さも改善されると大いに期待しておりました。しかし、今年も含め2回の読書振興課の説明を聞き、そうした期待が持てなくなりました。 （仮称）中央図書館が民間の商業施設の一角に造られ、そのスペースも今より大きくなるにしても、人口40万人の豊中市民を受け入れるには小さすぎます。しかも地域にあった従来からの図書館のスペースを大幅に削減したり、閉館したりする。図書館施策の後退と考えざるをえません。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで す。 将来にわたる持続可能な図書館サービスの提供に向けて、同プランでは、曽根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しています。また、分館の見直しを含めた新たな施設配置を示しています。
282	その他	（仮称）中央図書館が整備されると近隣の人は便利になりますが、既存図書館の利用者のために縮減や廃止を取りやめて欲しい。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで す。 なお、同プランでは、曽根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しており、同プランに沿って取組みを進めます。
283	その他	蔵書数削減の理由が、市民ニーズに応じて多様な閲覧スペース、利用者スペースを確保とありますが、5,000㎡の中央館であれもこれも詰め込むのは無理があります。ゆったりすごせるスペースや落ち着いた読書環境などは中央館だけで全市民のニーズに応えられるわけではありません。多くの市民は、身近に、気軽に使える図書館があることを望んでいます。規模が小さくても、蔵書があつて、司書がいる図書館を地域に残してください。服部図書館、岡町図書館の廃館の見直しを求めます。規模を縮小しても図書館として残してください。	
284	その他	歩いて行ける地域の図書館の要望から、服部図書館、岡町図書館の存続（どんな形でも残してほしい）豊中エリアの新たな図書館網など考えていただきたい。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
285	その他	整備計画の資料を読み返してみますと、「中央図書館を整備して、その他の中小の図書館は整理縮小する方向性」に言及されている部分がありました。この点に猛反対します。このような方針を考えた方は、行政の中枢にいて効率性を考える中で、図書館を頻繁に利用する市民の目線を失ってしまったのではないのでしょうか。曾根にいくら立派な図書館ができたとしても、バスと電車を乗り継いで片道500円、往復1,000円かけて行くことは、そう頻繁にできることではありません。 図書館ほど、子どものいる世代やリタイア後の世代にとって身近な行政サービスはないのですから、健常者なら徒歩圏内(中央図書館で片道30分、中小図書館で片道15分が最大限)に存在することが最優先です。 万が一、岡町図書館が廃止になると、上野坂、上野東、上野西、本町、北桜塚、栗ヶ丘辺りに図書館サービスの空白地帯ができることを指摘します。 対策として、新たな中小図書館を作り、その候補地として、堀田会館の転用、大曽公園の一画に新たに建ててる案などを書きましたが、他にも候補地は思い浮かびます。上野坂にある豊中市医療保健センターの一部を使って、図書館を整備するのはどうでしょう。 立派な建物があるのに、そのほとんどが週末しか利用されていない医療保健センターは地域住民にとって関係性が希薄な市の施設(私の場合43年間住んでいてわずか1回の利用)の一つですが、そこに図書館を整備すれば一気に身近な存在になると思われます。 他にも将来的に再整備計画が構想され始めている豊中駅前の一画に設ける案なども考えられますが、駅前再整備計画自体がこれからの話なので、(仮称)中央図書館の整備には間に合わないでしょうね。 いずれにせよ、図書館サービスの縮小(特にカバーする地域の縮小)だけは避けるよう切に願います。	図書館ネットワークの方向性については、(仮称)中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで す。 なお、同プランでは、曾根駅前に(仮称)中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しており、同プランに沿って取組みを進めます。
286	その他	計画地は庄内図書館もリニューアルしたことから、曾根エリアでないほうがいいと思います。文化芸術センターもあり、偏っているように感じます。	図書館ネットワークの方向性については、(仮称)中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで す。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
287	その他	教育長のメッセージ「はじめに」の中に、「まちづくりに必要な財源は増えていく」「将来世代に負担をかけない新たな施設の配置」とありますが、図書館のあり方を財政負担を理由に考えることが間違っていると思います。 図書館は知のアーカイブの場です。これまで人が築いてきた知を保管し未来に届ける場という大切な役割を担っているのが図書館であり、だから公共で守っていかなくてはならないものです。 来館者数や貸出数で測れない価値を持つ訳ですから、蔵書を減らすであったり、ましてや図書館を減らすということは、あってはならないと思います。整備計画は（仮称）中央図書館についてのものですが、予算を理由に分館を減らすことと表裏にあるのであれば、考え直して欲しいです。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。
288	その他	どんな人が来ても対応できることは大切だと思うが、自力で移動できない人たちにとっては、中央館が充実しても訪れることはできず、それよりも身近に分館があることのほうが良いと思います。飲食についても、自宅近くに図書館があれば、何度でも訪れることができ便利だと思います。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。
289	その他	図書館へのアクセスが以前から不便な地域があります。それを是正するのではなく、さらに不便な地域を増やすのは、基本コンセプト「誰もが、自分なりに使い、楽しみ、つながる図書館。すべての人の「わたしの図書館」であることをめざす」ことに逆行していませんか。 サービスポイントの設置などのアウトリーチサービスで補えるとは思えません。もっと顔の見える関係、人と人のつながりを大事にするようにしてください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。 同プランを踏まえて取組みを進めていきます。
290	その他	整備計画の内容は市の気持ちとしては理解できますが、実現できないことまでできるかのように書くのは、市民を惑わせると思います。2000円問題をはっきり示して、その是非を市民に問うかけることなく、すべての人の「わたしの図書館」にはなりにくいでしょう。限られた予算と人員、職員構成では、素晴らしい中央館ができたとしても十分に運営できません。廃止される図書館を現在利用している人の中にも様々な理由で、中央館を利用できない人もいます。大切な居場所をどうするのか、今までよかったから我慢しなさいでは済みません。	
291	その他	野畑図書館は子どもと遊びや学びに行く場所です。ボランティア団体の一員としても、その団体の活動でお世話になっている場所です。 また絵本のスペースでは、お母さん同士がつながる場所にもなっています。大きく便利な図書館も素敵ですが、地域に密着した図書館をどうぞなくさないでください。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
292	その他	図書館の廃館や縮小と（仮称）中央図書館建設がセットになっていますが、これは第3次総合計画の時の図書館市民1人あたり2,000円問題と根本的な関係があります。市民にとって大事な、親しんでいる（市民アンケートでも明白）公共施設である図書館を、行政や議会がどうして豊中の魅力としてより良くしようとしなかったのかと残念です。まるで金食い虫のような扱いだと感じました。当時、市の財政状況の悪化、新自由主義の吹き荒れる時代、さらにデジタル化が急速に進行する社会の中で、公共施設の一律の縮小や予算のシーリングカットが実施されました。 議会図書館もなく、真に図書館の重要性が理解されていなかったと思います。中核市になって、その中核市の市民1人あたり図書館費の平均を取って2,000円とするという、当時の市立図書館の先進的な取組みをまったく無視した決定が、今もなお「市民との約束だから」と、図書館をそしてそれを担う図書館人を縛りつけているのが本当に残念です。 時代の変化とともに、より良く効率よくするのではなく、ただカットするという行政の手法が今も続いているように思います。最近では「自治基本条例」も有名無実になっているのではないかと危惧します。 かつては全国でも先進事例として取り上げられていた豊中市の図書館はどこに行ったの？という感じです。この2,000円問題は人事の面でもサービスの面でも劣化せざるを得ない状況を生んでいる原因にもなっていると思います。（仮称）中央図書館が、市内全体の図書館サービスやネットワークをカバーできるとは思えません。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。
293	その他	基本コンセプトに「つながる。私の図書館で。」とあります。その通りです。しかし、市民でありながら図書館が近くにない人はどうしたらいいのですか。電子書籍や動く図書館や図書サービスポイントではまかないきれません。市は責任を持って地域に拠点を置いてください。 小さくてもいい。図書館とつながっていて求める本の貸出・返却ができて、司書がいる、図書室があればと思います。 服部図書館については規模は縮小しても、司書のいる（相談できる）図書館とつながっている場を残してください。今までつないでいた手を切らないでください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。 また、令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は（仮称）中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曾根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を（仮称）中央図書館の計画地として選定しました。このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、（仮称）中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
294	その他	廃止が決まった服部図書館を引き続き図書館ネットワークの中に位置づけるべきです。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。同プランを踏まえて取組みを進めていきます。
295	その他	（仮称）中央図書館構想については賛成ですが、同時に閉鎖される服部図書館について再考をお願いします。 現在利用している服部図書館は中央図書館に近いという理由で閉鎖と聞いています。ここは平坦な土地にあるため、下記の方々も利用されている。 ◎近くの保育園のこども達：散歩の途中で立ち寄って絵本などを読んでいます。 ◎リハビリ途中の方：散歩コースの中に入れて、休憩しながら本を読んでいきます。 ◎介護中・育児中の方：ちょっとした隙間時間の息抜きに利用しています。 ◎図書館が大好きな障害のある子どもがいます。 阪急電鉄宝塚本線曽根駅前前は岡町・豊中方面からは同じ平地にあるが、服部地区・城山町、曽根東町地区などから見ると高い崖の上にあります。 また曽根東町地区や服部・城山町地区から行く場合は、急な坂道、国道176号線沿いでは少しましですが、長い坂道を上らなければなりません。500m圏内というだけで、地理的な高低差は考慮されていないのではありませんか。 （仮称）中央図書館はバリアフリー設備を完備しても、そこに行くまでに障壁があることは考慮されていません。 今通っている服部図書館が閉鎖されると、上記の人々をはじめ、車いす利用者やバギー使用者、高齢者などの歩行弱者が行ける図書館はなくなってしまいます。電車で行ける人も限られるでしょう。 したがって、服部図書館は福祉面や介護予防にも重要な役割を果たしていると思いますので、教育委員会だけでなく、福祉・介護など総合的に検討し、存続させてください。	また、令和5年3月策定の「豊中市立図書館みらいプラン」において、服部図書館は（仮称）中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を（仮称）中央図書館の計画地として選定しました。 このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、（仮称）中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
296	その他	昔は豊中の図書館の数も少なく、市民活動によって各地域に密着した図書館が何ヶ所もできたと言いました。ほんの数十年前しか経ってないのに、今度は図書館を減らしていくことにするのはどうしてでしょうか。 図書司書の資格を持っている方の常駐数も少なくなっていると言いました。図書館は本屋さんではないので、本を手渡す作業だけの場ではないと思います。市民に寄り添ったサービスをしていく場だと思います。 新しく建つ中央図書館は、駅前と言う素晴らしい立地ですが、ショッピングモールの一部だと聞きました。 どのようなサービスが提供されるのかわかりませんが、それでほんとに豊中市の誇れる図書館になるのでしょうか。 各地域にある図書館も縮小されると聞きました。 それならばせめて、豊中市全部の図書館員や、すべての市職員と、常に密なコミュニケーションをとって、いろんな方向からサービスができるような仕組みを作ってください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示しています。 同プランを踏まえ取組みを進めていきます。 ご意見は、今後の取組みの参考とさせていただきます。
297	その他	岡町図書館には、子どものころから55年以上にわたり通い続けており、大変愛着があります。中央図書館を曽根駅前に整備する計画がいつの間にか既成事実化され進行しつつある中で、その建設にはあえて反対しませんが、それと引換えに岡町図書館が廃止されてしまうことを懸念します。 中央図書館が岡町から曽根に移動することで、豊中市北部の中央部に、どの図書館からも遠い空白地帯ができてしまうことです。具体的には、上野坂、上野東、上野西、本町、北桜塚、栗ヶ丘町といったエリアです。 北桜塚を除いたこの地域は、多くが住宅専用地区であることが関係してか、昔から豊中市の公共サービス全般の提供密度が薄い地域でしたが、図書館という生活密着型の行政サービスまでが空白区になることは耐え難いです。 一方で、曽根に中央図書館ができることで、既存の服部図書館とはかなり距離が近いことになります。 私からの提案は、もし岡町から図書館を廃止するのであれば、上記の空白エリアに新たな中規模図書館の開設をすべきではないでしょうか。私としては、現在の堀田会館を改装して図書館に鞍替えさせる、あるいは大曽公園の一角に新たな図書館を建設するくらいが位置的には適当に思えます。 図書館数が増えることで維持経費が懸念されるのであれば、服部図書館を廃止して、その費用を充てることで賄えるはずです。ご検討ください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出しのアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで す。 なお、同プランでは、曽根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しています。

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
298	その他	歩行困難な高齢者や障害者などに配慮した施設配置になっていません。その改善を優先してください。	図書館ネットワークの方向性については、（仮称）中央図書館を核に新たな図書館サービス網を構築するため、図書館サービスの全体最適を考慮した施設配置、電子書籍や動く図書館、郵送貸出のアウトリーチサービスの充実など、新たなサービス展開を豊中市立図書館みらいプランで示したところで、同プランを踏まえて取組みを進めていきます。
299	その他	歩いて行ける図書館をやはり希望します。小さくても本の貸出のできる場所、図書館を残して欲しいと願っています。	
300	その他	まず、図書館は市民の共有財産です。歩いていける距離にあるべきだと思います。	
301	その他	そもそも図書館は何のためにあるのでしょうか。昔はバスで巡回して本を貸し借りできる時代もありました。多様な利用者がいる中で、主に子どもや学生のためにあるのが図書館です。借りることはもちろん、返すことも考慮すると、身近に図書館があることのほうが重要だと考えます。間違いなく利用者は減少すると思いますし、子どもの交通事故など深刻な懸念もあります。デジタル化を過度に進めると、本離れも同時に進むことが懸念される中、時代に逆行しているとも思えます。図書館を一つにする計画には、様々な理由があるのかもしれませんが、市民にその是非を問わずして推し進めるのには賛成できません。	
302	その他	曾根駅前に中央図書館ができることを知りました。曾根駅前に中央図書館ができることや、既存建物が新しく建て替わることには反対ではありません。むしろ賛成です。 ただ、心配なのは岡町図書館が閉館するのではないかとされていることです。岡町図書館の閉館には強く反対いたします。なぜなら、自宅に近い図書館であり、蔵書も多く、本を借りるだけでなく、地域の様々な年齢の方々の居場所となっていると確信しているからです。岡町周辺もマンションや新しい戸建て住宅も増えています。災害時も一時避難場所や救援物資配布拠点ともなるのではないのでしょうか。曾根は暑い夏、寒い冬は遠いです。年齢を重ねるにつれて容易に行ける場所ではなくなると感じています。岡町図書館の耐震改築、建替えもあわせてご検討ください。	豊中市立図書館みらいプランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しています。岡町図書館廃止後の施設活用に当たっては、今後、市で検討していきます。
303	その他	岡町図書館と服部図書館周辺の市民にとって、図書館はなくてはならないものです。ただ本がある場所ではありません。長年にわたり人々が集い、交流し地域の文化を育んできました。地域の人々の意見をもっと聞いていくことをお願いします。	豊中市立図書館みらいプランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しています。岡町図書館廃止後の施設活用に当たっては、今後、市で検討していきます。服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。
304	その他	岡町図書館、服部図書館が閉館になることを今だに残念に思っています。	豊中市立図書館みらいプランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しており、同プランに沿って取組みを進めます

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
305	その他	先日、岡町図書館で司書の方に大変お世話になりました。寝たきりの友人へのお見舞の本探しに行き詰まっていたところ、司書の方が様々な分野から候補となる本を選んでくださいました。豊富な知識とこちらの思いに寄り添ってくださるお気持ちに心から感謝しました。歴史が古く、利用しやすい便利な立地にあり、住民の生活に溶け込んでいる岡町図書館の存続を切に求めます。	豊中市立図書館みらいプランでは、曾根駅前に（仮称）中央図書館が建設された場合は、近接する岡町図書館と服部図書館を廃止する方針を示しており、同プランに沿って取組みを進めます。岡町図書館廃止後の施設活用にあたっては、今後、市で検討していきます。
306	その他	服部図書館跡地にはサービスポイント機能を残し、（仮称）中央図書館はそれをサポートしてください。服部図書館はこの地域の活性化につながっていました。図書館へ行くと保育所などの子ども達も訪れ楽しそうに本を読んでいました。活字に触れる機会を少しでも残してください。	令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は（仮称）中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曾根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を（仮称）中央図書館の計画地として選定しました。このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、（仮称）中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。また、みらいプランでは、サービスポイントの設置方針として、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。
307	その他	服部図書館の廃止後に、図書サービスポイントを設置してください。	
308	その他	服部図書館を廃止しないで欲しい。	
309	その他	中央館と地域館・分館・図書室の役割はまったく違います。中央館ができるから服部図書館を廃止するというのは論理的ではありません。間違っています。服部図書館の規模を小さくし、図書室として残してください。もし、それが無理なら、サービスポイント機能だけでも残してください。図書館ネットワークとして、服部の場所に、市立図書館の機能を残しておくことが必要です。	
310	その他	服部図書館は年間約10万人の市民が30万冊の本を利用しています。中央館ができて坂道や交通量の多い（仮称）中央図書館へ行くことができない人もいます。この人達の図書館を利用する権利を奪ってはなりません。それは豊中市立図書館の使命・理念に反します。中央館のサービスが市の隅々まで及ぶものではありません。地域館の存在と両者の連携がますます重要になります。服部図書館を閉鎖するなどとてもないことです。	
311	その他	近隣に本が大好きな高齢の人たちが多くいます。好きな作家のシリーズを順番に予約し、買い物や介護予防センターの帰りに服部図書館で借りている方が多い。服部図書館はなくなるということですが、図書サービスポイントだけでも残してください。	
312	その他	服部図書館については、地域の交流の場（複合施設）として残す方向ですが、本にふれ合えるよう本を置いてください。また、（仮称）中央図書館まで行けない高齢者や障害者などが、本を利用できるように図書サービスポイントの設置をお願いします。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
313	その他	服部図書館の廃止後は、図書サービスポイントを設置してください。歩いて、国道176号線を容易に越えられない方がいることを忘れないでください。図書サービスポイントに関しては新図書館の管理下にて、すべてサポートすることを要望します。	令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は（仮称）中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を（仮称）中央図書館の計画地として選定しました。このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、（仮称）中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。
314	その他	服部図書館のサービスポイント機能を残して中央図書館はそれをサポートしてください。	また、みらいプランでは、サービスポイントの設置方針として、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。
315	その他	現在、服部図書館のリクエスト本の貸出は、当初と比べ本棚も増え、利用数がどんどん増えているように思います。これだけのリクエスト本が、（仮称）中央図書館に移動し集中すれば、取置きの本棚スペースもたくさん必要ですし、多くの人で混雑することが予想されます。その混雑を緩和するために、今の服部図書館を図書サービスポイントとして残してください。もちろん返却ポスト・本のセルフ貸出機を利用できるようにしてください。 インフルエンザや新型コロナなどの感染症対策としても、多くの人々が密に接することは避けるためにも服部図書館を残すべきです。駐輪場も同様に、服部図書館利用者がこれだけの自転車を停めているのだから、図書サービスポイントにすればその分中央図書館の駐輪場の混雑が緩和されます。 何より30年前に、地域住民の熱い要望でできた服部図書館の「歩いて行ける地域の図書館」というコンセプトが少しでも残るよう、ぜひ検討してください。 せっかく充実させた読書環境を断ち切ってしまうことは、この地に服部図書館があるから退職後引っ越してこられた方、子どもの誕生をきっかけに服部図書館の近くに引っ越してこられた方、服部図書館のある毎日を自分たちの未来に描いてきた地元住民の希望を打ち砕いてしまうことになります。 都市計画の一環として、大阪府住宅供給公社に要望書まで出して豊中団地に併設された特別な図書館であることを忘れずに、豊中市立図書館とつながって、市の本が借りられる図書サービスポイント機能は絶対になくさないでください。ただ本棚を設置して、住民が不要本を持ち寄って、「本のある場所」などというようなことにだけは、絶対に絶対にしないでください！！（仮称）中央図書館は、服部図書サービスポイントとして全力でサポートしてください。	

NO	該当か所	意見内容	市の考え方
316	その他	書籍のデジタル化が進み、発表直後の最新情報も随時更新されます。また、インターネット上の情報は多種多様で、虚偽のものも多いのが現状です。この不確かな時代に図書館の役割は次の2点です。 「人と（正確な）情報をつなぐ」と、「（正確な）情報を求める人と人をつなぐ場」の2点です。服部図書館はこの2つの役割を地域で担っています。そのため服部図書館を閉鎖すると、大きな影響が地域にあらわれます。 誰もが求めている正確な情報を得られ、すべての人が利用しやすいことこそが、市民の求める（ニーズのある）図書館ではないでしょうか。服部図書館のある地域は、古くからの住宅街であるため、長くこの地域に住んでいる人が多いです。つまり高齢化の進んだ地域です。そのためデジタル化に追いつかない高齢者も多く、図書館に行き、情報を得てきました。 服部図書館はそうした住民が新聞や雑誌等を読み、時間をすごせる居場所として利用されています。また、廃止になると行き場を失う人として就学前の幼い子どもを育てている皆さんです。保育所の入所待ちで困っている皆さんです。つまり、市政の（福祉）サービスが受けられない人の居場所としても服部図書館は機能しています。地域のセーフティネットの役割を果たしてきました。 その服部図書館を、せめてサービスポイントとして利用できる等、跡地を活用して、市民サービスを受けられる道を残して欲しい。	令和5年3月策定の豊中市立図書館みらいプランにおいて、服部図書館は（仮称）中央図書館の設置場所により、廃止またはサービスポイントの方向性を示しました。 令和5年度に阪急電鉄宝塚本線曽根駅前の民有地を第一優先候補地に選定し、所有者と施設概要や機能配置などについて協議を行ってきました。この度、協議がまとまり同地を（仮称）中央図書館の計画地として選定しました。 このため、服部図書館は、全市域での図書館サービスを考えた際、（仮称）中央図書館のカバーするサービス圏域に包含しているため廃止とします。 また、みらいプランでは、サービスポイントの設置方針として、鉄道駅等利便性の高い場所、他の図書館から離れた場所に設置することとしています。 服部図書館の今後の利活用については、市民の皆さまと対話しながら、本を介した多世代交流の拠点など施設全体で検討していく予定です。
317	その他	（仮称）中央図書館設立には反対しておりませんが、服部図書館を閉鎖しないでください。 理由は、以下のとおりです。 ◎服部本町、北条町地区の在住者は徒歩で行くの に 不自由。これが一番の問題点です。 ◎送迎バス、動く図書館が近くに来てくれるなら問題なくなります。 ◎服部図書館の跡地は何になるのですか。予定がなければ縮小してでも存続してください。 ◎子どもコーナ（児童書、絵本）と一般教養コーナ（小説、地理、歴史、科学etc）芸術（美術、音楽etc）の本があり、それを貸し出してください。	

(3) その他意見公募手続を実施した案と定めた計画との変更点

1. 意見公募手続により提出されたご意見に対応するもの

(概要)

外国語資料の収集・提供については、引き続き中央館の蔵書計画として取り組むため、次のとおり修正しました。

(該当箇所)

(修正前)	(修正後)
(3) 中央館の蔵書計画 ③障害者用資料・外国語 <u>絵本</u> 多様な読書ニーズに対応し、点字図書や音声デイジー図書等のほか、外国語 <u>絵本</u> を収集し、提供します。	(3) 中央館の蔵書計画 ③障害者用資料・外国語 <u>資料</u> 多様な読書ニーズに対応し、点字図書や音声デイジー図書等のほか、外国語 <u>資料</u> を収集し、提供します。

2. その他変更するもの

(概要)

内部確認の結果、次のとおり修正しました。

(該当箇所)

(修正前)	(修正後)
(3) 中央館の蔵書計画 ①蔵書数 (略) ※岡町図書館及び服部図書館の蔵書数は <u>令和5年度(2023年度)</u> <u>の実績</u>	(3) 中央館の蔵書計画 ①蔵書数 (略) ※岡町図書館及び服部図書館の蔵書数は <u>令和6年(2024年)12月</u> <u>27日時点</u>